## 事業案内について

この事業案内には、教育センターの令和6年度の諸事業がまとめてあります。

研修関係の事業については、研修会名・対象・実施予定日時・会場・内容などが記載してありますので、各学校(園)や各関係団体の事業計画を立案される際に御配慮ください。

なお、やむを得ず実施日時や会場などを変更する場合もあります。個々の事業の詳細につきましては、原則として4週間前までに文書等で連絡いたしますので、御協力くださいますようお願いいたします。

## <対象校種の表記について>

(到): 幼稚園 (小): 小学校 (中): 中学校 (特): 特別支援学校・高等特別支援学校 (高): 高等学校

## <受講対象者の表記について>

- 教諭 ・・・・ 臨時的任用・任期付教員、暫定再任用短時間勤務職員、非常勤講師を除く教員
  - ※ 養護教諭・栄養教諭・実習教師等については、職名が分かるように記載してあります。
- 学校事務職員 ・・・・ 臨時的任用・任期付・会計年度任用職員を除く職員
- 学校栄養職員 ・・・・ 臨時的任用を除く職員
- 常勤講師 ・・・・・・・・ 常勤の臨時的任用・任期付教員
- 非常勤講師 ・・・・・・ 会計年度任用短時間勤務職員である教員
- □□全員、□□担当者、□□主任等 ・・・・ 任用種に関係なく該当の教職員
- ※ 以下の基本研修(P29)は常勤講師も対象です。また、専門研修(P33~)は常勤講師も受講できます。
- ※ ★印の研修は、非常勤講師も受講できます。

ページ	研 修 · 講 座 名	ページ	研修・講座名
29	新規 特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会	42	発達障害のある子どもの理解と支援講座★
29	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会	42	明日から使える!特別支援教育指導法講座★
33	アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座★	43	個別の指導・支援推進講座
35	高等学校各科研修講座★	44	特別支援教育教室参観講座
36	高等学校探究セミナー★	44	日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座
38	コンピュータ講座(Ⅰ講座・Ⅱ講座)	44	学校保健研修講座
41	教育相談基礎講座	45	幼保小接続研修会(義務教育課共催)★

### <会場欄の表記について>

(セ): 教育センター (館): 教育館

一部の研修で、研修会場に加えて、以下のような研修方式を表記しています。これらの表記がなく、会場のみの表記の場合は、指定する研修会場に集合して受講する研修です。

- 対面 ・・・・ 指定する会場に集合して受講。(会場のみの表記の場合と同じ)
- オンライン ・・・・ 定められた日時にオンラインで受講。(会場は各学校園と表記)
- オンデマンド・・・・・ 定められた期間内に動画を視聴。(会場は各学校園と表記)
- ※ 研修内容や展開によって、対面やオンライン、オンデマンドを組み合わせて実施する研修があります。その場合は、複数表記をしています。
- ※ 各学校園におかれましては、オンラインやオンデマンドによる研修時に、受講者が研修に専念できる環境や 時間に対する御配慮をお願いいたします。

## <受講延期について>

以下の研修において、該当者の経験や負担等を勘案し、十分な研修効果が得られるのは難しい状況と校長が判断した場合は、受講を1年延期することができます。

教職経験者研修会 [5 + G]、中堅教諭等資質向上研修 [10 + G]、学校事務職員経験者研修会 [5 + G]、養護教員経験者研修会 [10 + G]、[10 + G]、[10 + G]、[10 + G]

栄養教員経験者研修会(I) [栄養5年研]、(II) [栄養10年研]、

高等学校教職経験者研修会[高校5年研]、高等学校中堅教諭等資質向上研修[高校10年研]、

高等学校養護教員経験者研修会(Ⅰ)[高校養護5年研]、(Ⅱ)[高校養護10年研]

# 目 次

I 「新たな教師	iの学びの姿」の実現に向けて		
1 新たな教	师の役割 <sub></sub>		1
	改員育成指標の改訂とそれに基づく研修体系		1
	数員育成指標の活用		1
4 名古屋市	数員育成指標と研修体系	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
Ⅱ 研 修			
1 基本研修	TI May T		
	<b>研修 I</b> 研修会	Lat	1.0
(1) 初任者 (2) 高等学	研修会 交初任者研修会		12 14
(3) 新規採	T養護教員研修会	<b>養</b>	15
(4) 高等学	交新規採用養護教員研修会 ····································	護	16
(5) 新規採	用栄養教員研修会 ······	棠	17
(6) 新規採	用栄養教員研修会 用学校事務職員研修会 競者研修会[5年研]	事	18
(7) 教職経	<b>食者研修会[5年研]</b>	<u></u>	19
	交教職経験者研修会[高校 5 年研]	圓	20
	員経験者研修会(I)[養護5年研] ····································		20 21
	文		21
	客職員経験者研修会[事務8年研]······		22
	渝等資質向上研修[10年研] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		23
(14) 高等学	交中堅教諭等資質向上研修[高校10年研]		25
	員経験者研修会(Ⅱ)[養護10年研] ····································		25
	交養護教員経験者研修会(Ⅱ)[高校養護10年研] ·············· 員経験者研修会(Ⅱ)[学養10年研] ·························	<b>(9)</b>	26
(17) 栄養教	員経験者研修会(Ⅱ)[栄養10年研] ····································	(E)	26
-	研修Ⅱ		
	営研修会(I)		27
	営研修会(Ⅱ) ······ 算研修会 ·····		27
. ,			28
	育担当者研修会 ····································	(II)	28 28
	欧州 10 元 爱教育コーディネーター研修会		28
(7) 栄養教	夏秋 同	<u>(三)</u>	28
	务職員研修会	事	28
(9) 講師研		<b>(iii)</b>	29
	・ 特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会 ···············	特	29
		(特)	29
	<b>善特別研修</b>		29
	星(小・中・特・高)	<b>(B) (B)</b> ········	30
(14) 人権教	育研修	権	30
2 経営研修			
	長研修会	息息息	32
(2) 教頭研		頭頭 鳳頭…	32
(			
3 専門研修			
	等研修講座		
(1) アイデ	アいっぱい!楽しい授業づくり講座	⑦ ······	33
	<b>咒基礎講座</b>		34
(3) 高等学	交各科研修講座	<b>高</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	35
(4) 高等学	交探究セミナー	<b>®</b>	36
(5) 高等学	交学びの変革研修	学	36
3-2 課題	引研修講座		
(1) 情報教			
① 情報	幾器等の運営・管理講座	機	37
② 学校	青報化推進リーダー養成講座	<b>#</b> ······	37
3 32	ピュータ講座(I講座、II講座)	©](I)	38
	学校ICT・ネットワーク研修講座		39
(2) ミドル	リーダー研修	(3)	40

	(3) 教育相談講座	
	① 事例検討の進め方講座 検	41
	② 若手教員のための学級集団づくり講座	41
	③ 教育相談基礎講座	41
	<ul><li>④ 教育相談発展講座</li><li>Ⅲ ·······</li></ul>	
		42
		4.0
	① 発達障害のある子どもの理解と支援講座	42
	② 明日から使える!特別支援教育指導法講座 ②	42
	③ 個別の指導・支援推進講座	43
	④ 特別支援教育推進講座	43
	⑤ 特別支援学校授業づくり講座	43
	⑥ 特別支援教育教室参観講座	
	(5) 日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座	44
	(6) 学校保健研修講座	44
	(7) 管理監督者のためのメンタルヘルス研修(教職員課共催) ····································	45
	(8) 教師力フォローアップ	45
	(9) 教師力パワーアップ ····································	45
	(10) 幼保小接続研修会(幼児教育支援室共催) ····································	45
	(10) 列州小坂帆町形式(列几秋日人)及主八座/	10
	4 長期研修 (4)	4.0
	(1) 特別支援教育専門研修       (2) 教育研究員	46
	(2) 教育研究員	46
	(3) 生涯学習研修	$\cdots 47$
	(4) 教職大学院派遣研修	$\cdots 47$
Ш	Ⅱ 研究調査	
ш		10
	1 教育センター研究 ····································	48
	2 教育情報提供・教育研究相談	48
	3 教育研究推進事業	48
	5 校内研究・研修支援(所員派遣)	49
IV	V 教育相談	
LV		F.0
		50
	2 学校支援	
	(1) 教職員相談	
	(2) 学校コンサルテーション	
	(3) 情報・資料提供及び心理検査器具貸出し	50
v	V 各種委員会	
٧		
	教育センター運営委員会	51
VI	Π その他の事業	
	指導員学校訪問 ·······	51
	校内研修コンテンツ	
	なごや教員カムバックサポート	
	祝聴覚ライブラリー ····································	
	学校支援(集計処理)	52
VII	Ⅲ 施設利用及び研修等への参加	
_	1 施設の貸与 ····································	53
	2 会場案内	
	3 欠席届、受講延期届及び所員の派遣依頼の様式	57
	3 欠席届、受講延期届及び所員の派遣依頼の様式 ····································	···· 57
	3 欠席届、受講延期届及び所員の派遣依頼の様式	···· 57 ···· 59

## I 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて

## 1 新たな教師の役割

令和4年8月には、文部科学省は「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」を改正するとともに、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」を策定している。今後は、これらの国の指針を踏まえ、育成指標とともに、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励により「新たな教師の学びの姿」を実現していくことが求められる。

同年12月に中央教育審議会が取りまとめた「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について~『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成~(答申)」において、子どもたちの学び(授業観・学習観)とともに教師自身の学び(研修観)を転換し、「新たな教師の学びの姿」(個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」)の実現を目指すことが示された。

令和5年9月には、本市においても名古屋市の全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示す「ナゴヤ学びのコンパス」が策定された。

## 2 名古屋市教員育成指標の改訂とそれに基づく研修体系

こうした教師の役割をふまえ、「教員育成指標」(教諭版、養護教諭版、栄養教諭版、 管理職版)を、名古屋市教育委員会と大学等が連携して改訂した。

そこで、各学校(園)で、教員の資質向上に関する対話の際に活用できるように、 改訂した育成指標とともに、教育センターで設定している研修体系を次頁以降に掲載 する。

## 3 名古屋市教員育成指標の活用

各学校(園)は、あいあいシステムよりファイルダウンロードして活用が可能

- 【①~⑤がファイルダウンロードまでの手順】
- ① あいあいシステム (イントラネット用)

学校の情報化支援
■ あいあいシステム(イントラネット用)

- 「タブレットを使う一日」(毎日使おうタブレット)「タブレット端末 よくあるQ&A」(教員用ページ版)
- 「トラブル等の対応についてのフローチャート」 (教員用ページ版)
- 指導者用・学習者用タブレット端末の修理依頼

② 回答者用ログイン I D・パスワード



③ データライブラリ (右上)

トップ データライプラリ 使い方 | ログアウト

④ 教員育成指標と入力して検索(右上)

教員育成指標

⑤ 令和6年度 教員育成指標にチェックを入れ、 ファイルダウンロードをクリック



# 4 名古屋市教員育成指標と研修体系

【名古	屋市数	'吕杏	成指標】
12 H		、只日	儿人]日1末』

<ul><li>教諭版</li></ul>	P 3
• 養護教諭版	P 4
• 栄養教諭版	P 5
• 管理職版	P 6
【教員育成指標を基にした研修体系】	
<ul><li>教諭版</li></ul>	P 7
• 養護教諭版	P 9
<ul><li>栄養教諭版</li></ul>	P10
• 管理職版 ······	

# 名古屋市教員育成指標(教諭版)

全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで一貫して大切にしていきます。 全ての教職員が対話を重ねながら、それぞれの学校園や子どもたちの実態に合った教育について考え、実践を進めていきます。

						1
資質 能力	STEP 視点	着任時の姿	基礎を養う STEP1	専門性を高める STEP 2	協働性を高める STEP 3	様々な役割を果たす STEP 4
	責任感・使命感 教育公務員としての 専門性や資質・能力について	ている。	公務員としての専門性や資質・能力を 高められるように市教委の研修や校内 研修で学んだことを生かすことができ る。	公務員としての専門性や資質・能力を 高められるように市教委の研修や校内 研修で学んだことを発展・充実するこ とができる。	公務員としての専門性や資質・能力を 高められるように学んだ成果を他の教 職員に広めることができる。	能力を高められるように最先端の教育 施策や理論も取り入れて学び続けることができる。
	コンプライアンス 法令遵守について	法令を遵守し、規範意識を もっている。	としている。	務に専念することを常に意識すること ができる。	務に専念することの重要性を学校全体 に働き掛けることができる。	範意識をもった職務遂行等について学校全体として課題を発見し、改善する ことができる。
	教育的愛情 教師として子どもの成長を 願う気持ちについて	子どもの存在を肯定的に捉え 理解するとともに、教育的愛情 をもっている。		ように支えるとともに、教育的愛情に	子どもの内面的な成長や将来の姿に まで思いを巡らせ、教育的愛情に基づ いて子どもの成長を促すことができ る。	に基づいて子どもの成長を促すことが
	社会性 マナーや礼儀について	社会に出るためのマナーや礼儀を身に付けている。	ている。	常に意識し自ら律することができる。	全体に働き掛けることができる。	社会一般のマナーや礼儀について学校全体として課題を発見し、改善することができる。
素	コミュニケーション 共通理解や合意形成について		ことができる。	図ることができる。	り、共通理解や合意形成を図ることが できる。	て関わり、共通理解や合意形成を図る ことができる。
養	人権教育に関する理論、		る理論、偏見・差別に気付く感覚を身		充実するために、連携・協働すること	
	学校運営への参画 学校教育目標の実現について	る重要性を理解している。	に「報告・連絡・相談」をしながら、		他の教職員との連携・協働を推し進 めることで、学校教育目標の実現に向 けて、学校全体で取り組むことができ る。	題の対応に向けて、連携・協働するこ
	課題への対応 学校における課題について	学校における課題を解決する ために、他の教職員と連携・協 働する重要性を理解している。			に、連携・協働することができるよ	
	た機管理 危機管理の体制整備について	危機管理の基本的な視点や知 識について理解している。	教職員に相談や報告をしながら、対応 することができる。	することができる。	と連携・協働を推し進めることで、共 通理解することができる。	応じた体制整備に向けて、学校全体の 危機管理意識の維持高揚が図れるよ う、学校全体に働き掛けることができ る。
	授業構想授業づくりの仕方について	授業づくりの基本的な理論や 知識を理解している。	本時の目標を達成する授業づくりに取り組むことができる。	りを見通し、「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の一体的な充実を意	子ども一人一人の実態を踏まえ、学校や地域の特色を生かし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	た授業づくりについて学び続けること ができる。
学習指導	授業展開授業の展開の仕方について	授業を展開するための基本的 な知識や技能を理解している。		しながら、「個別最適な学び」と「協	子ども一人一人の思いや願いをつな ぎながら、「個別最適な学び」と「協 働的な学び」の一体的な充実の実現に 向けた授業を展開することができる。	た授業の展開について学び続けること
v	3 HALLE - 31H	いる。	人を適切に学習評価することができ る。	単元や題材などの目標に対して、子 ども人一人を適切に学習評価し、学習 や指導の改善に生かすことができる。	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識した学習や 指導の改善をすることができる。	最先端の教育施策や理論も取り入れ た学習評価と、それを基にした学習や 指導の改善について学び続けることが できる。
	子ども理解 適切な指導・助言について	理論や知識を理解している。		職員と連携・協働を推し進めること	通理解を図るために、連携・協働する	適切な指導・助言につなげるため に、連携・協働することができるよ う、なごや子ども応援委員会をはじめ とした関係機関へも、働き掛けること ができる。
生徒指導	集団経営	理論や知識を理解している。	結果を基に、子どもが居心地よく過ご	結果を生かし、子どもが安心・安全に	て学び続けられる集団づくりに取り組	た集団づくりについて学び続けること
	生徒指導 生徒指導上の課題解決について	生徒指導に関する基本的な理 論や知識を理解している。				なごや子ども応援委員会をはじめと した関係機関との連携・協働も視野に 入れつつ、生徒指導上の課題を解決す るために指導・支援することができ る。
とす	る子どもへの対応	指導計画、合理的配慮に関する 基本的な理論や知識を理解して いる。	もに個別の教育支援計画や個別の指導 計画を作成・活用し、相談や報告をし ながら合理的配慮を踏まえて指導・支 援することができる。	別の教育支援計画や個別の指導計画に 基づき、他の教職員との連携を推し進 めることで、合理的配慮を踏まえて指 導・支援することができる。	援を計画し、必要に応じて専門家に相 談したり、助言または援助を要請した りすることができる。	学校全体で校内支援体制を充実する ために、連携・協働することができる よう、学校全体に働き掛けることがで きる。
教 育 I デ C		的な理論や知識を理解してい る。	どもの個や集団の実態に当てはめて指 導・支援することができる。	教員と連携・協働を推し進めること で、情報モラル教育の共通理解を図る ことができる。	全体に働き掛けることができる。	めに、連携・協働ができるよう、教育 に関わる家庭や地域社会へも働き掛け ることができる。
データの利					び」の一体的な充実を意識した授業実	いて共通理解を図るために、連携・協 働することができるよう、学校全体に 働き掛けることができる。
活・用	教育データの利活用 指導・支援について	教育データの利活用に関する 基本的な知識や技能について理 解している。	教育データを指導・支援に取り入れ ることができる。	他の教員と連携・協働を推し進めるこ	教育データを適切に利活用するため に、連携・協働することができるよ う、学校全体に働き掛けることができ る。	端の知識や技能について学び続けるこ

# 名古屋市教員育成指標(養護教諭版)

全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで一貫して大切にしていきます。 全ての教職員が対話を重ねながら、それぞれの学校園や子どもたちの実態に合った教育について考え、実践を進めていきます。

				ともたちの実態に合った教育につい 		
資質 能力	STEP 視点	着任時の姿	基礎を養う STEP1	専門性を高める STEP 2	協働性を高める STEP3	様々な役割を果たす STEP4
	責任感・使命感 教育公務員としての 専門性や資質・能力について	ている。	務員としての専門性や資質・能力を高め	自己のよさや課題を自覚して、教育公 務員としての専門性や資質・能力を高め られるように市教委の研修や校内研修で 学んだことを発展・充実することができ る。	務員としての専門性や資質・能力を高め られるように学んだ成果を他の教職員に	
	コンプライアンス 法令遵守について	法令を遵守し、規範意識を もっている。	法令を遵守し、規範意識を高めようと している。	法令を遵守し、規範意識をもって職務 に専念することを常に意識することがで きる。		法令に関する豊富な知識をもち、規範 意識をもった職務遂行等について学校全 体として課題を発見し、改善することが できる。
	願う気持ちについて	子どもの存在を肯定的に捉え 理解するとともに、教育的愛情 をもっている。 社会に出るためのマナーや礼	どもの成長を促すことができる。	うに支えるとともに、教育的愛情に基づ いて子どもの成長を促すことができる。	子どもの内面的な成長や将来の姿にま で思いを巡らせ、教育的愛情に基づいて 子どもの成長を促すことができる。 社会一般のマナーや礼儀について、常	子どもの将来を見通し、教育的愛情に 基づいて子どもの成長を促すことができ る。 社会一般のマナーや礼儀について学校
	社会性 マナーや礼儀について	儀を身に付けている。	いる。	に意識し自ら律することができる。	に意識することができるよう、学校全体 に働き掛けることができる。	全体として課題を発見し、改善すること ができる。
素	コミュニケーション 共通理解や合意形成について		関わり、共通理解や合意形成を図ること ができる。	取って関わり、共通理解や合意形成を図 ることができる。	きる。	ができる。
養	人権意識 人権に関する知識や 人権教育に関する理論、 偏見・差別について	人権に関する基本的な知識や 人権教育に関する基本的な理 論、偏見・差別を理解し、人権 を尊重する態度を身に付けてい る。	理論、偏見・差別に気付く感覚を身に付		学校全体で人権に関する教育活動を充 実するために、連携・協働することがで きるよう、学校全体に働き掛けることが できる。	
	学校運営への参画 学校教育目標の実現について	学校教育目標の実現のため に、他の教職員と連携・協働す る重要性を理解している。 学校における課題を解決する	「報告・連絡・相談」をしながら、自己	自らの役割を理解し、担当する校務分 掌や学年・学級において、子どもたちの 実態に合った教育を具体化して、実践を 進めることができる。 学校における課題を、他の教職員と連	ることで、学校教育目標の実現に向け	できるよう、教育に関わる家庭や地域社 会へも働き掛けることができる。
	課題への対応 学校における課題について	学校における課題を解決する ために、他の教職員と連携・協 働する重要性を理解している。		子校における課題を、他の教職員と選 携・協働を推し進めることで、解決する ことができる。		学校における課題を解決するために、 連携・協働することができるよう、教育 に関わる家庭や地域社会、なごや子ども 応援委員会をはじめとした関係機関へも 働き掛けることができる。
	危機管理 危機管理の体制整備について	危機管理の基本的な視点や知識について理解している。	職員に相談や報告をしながら、対応する ことができる。	ることができる。	携・協働を推し進めることで、共通理解 することができる。	管理意識の維持高揚が図れるよう、学校 全体に働き掛けることができる。
	保健教育 養護教諭の専門性を生かした 各教科等における指導について	解している。	児童生徒の健康課題を捉え、保健教育 計画の作成へ参画することができる。	指導に活用するために、他の教職員と連携・協働を推し進めることで、保健教育 を実践することができる。	に働き掛けることができる。	することができるよう、地域社会や関係 機関へも働き掛けることができる。
養護	健康相談及び保健指導 個々の児童生徒の健康課題の 把握とその対応について	学校保健安全法による健康相 談及び保健指導について理解し ている。		員と連携・協働を推し進め、他の教職員	早期発見・早期対応するために、連携・協働することができるよう、コーディネーターの役割を果たし、校内支援体制づくりをすることができる。	
教諭固有	保健管理 救急処置、健康診断、感染症の 予防、環境衛生などについて	身の健康管理及び学校環境衛生 管理について基礎的な知識・技 能を身に付けている。	管理・予防、学校環境衛生管理などの結 果を活用することができる。	児童生徒のけがや疾病などの未然防止、再発防止のために、他の教職員と連携・協働を推し進め、校内で中心的な役割を果たすことができる。	することができるよう保健管理について 学校全体に働き掛けることができる。	保健管理の充実のために、連携・協働 することができるよう、保健センターな どの地域社会や関係機関へも働き掛ける ことができる。
のカ	保健室経営 養護教諭の役割と 保健室の機能について	養護教諭の役割と保健室の役割について基礎的な知識・技能 を理解している。	組織的に保健室経営を行うために、学 校教育目標を踏まえた保健室経営計画を 立案し、共通理解を図ることができる。	保健室経営を充実するため、学校の実 態に応じて工夫と改善を加えながら、保 健室経営を行うことができる。		
	保健組織活動 関係者と連携・協働した 組織活動の推進について	学校保健委員会など、様々な 保健組織の意義を理解してい る。		保健主事や関係職員と連携・協働しながら、保健組織活動を主体的に実施する ことができる。		保健活動を組織的に推進するために、 連携・協働することができるよう、地域 や関係機関へも働き掛けることができ る。
生	子ども理解 適切な指導・助言について	子ども理解に関する基本的な 理論や知識を理解している。 集団づくりに関する基本的な	き、子どもや学級集団の実態を理解する ことができる。	員と連携・協働を推し進めることで、情 報共有をして指導方針の共通理解を図る ことができる。	ができるよう、学校全体に働き掛けるこ とができる。	連携・協働することができるよう、なご や子ども応援委員会をはじめとした関係 機関へも、働き掛けることができる。
徒指導	集団経営 集団づくりの仕方について	理論や知識を理解している。	果を基に、子どもが居心地よく過ごせる 集団づくりに取り組むことができる。	くりに取り組むことができる。	果を他の教職員とも共有し、自律して学 び続けられる集団づくりに取り組むこと ができる。	集団づくりについて学び続けることがで きる。
	生徒指導 生徒指導上の課題解決について	論や知識を理解している。	もの個や集団の実態に当てはめて指導・ 支援することができる。	めに、他の教員と連携・協働を推し進め ることができる。	くりのために、連携・協働ができるよう、学校全体に働き掛けることができる。	た関係機関との連携・協働も視野に入れ つつ、生徒指導上の課題を解決するため に指導・支援することができる。
5 ع	な配慮や支援を必要 する子どもへの対応 に応じた支援体制について	指導計画、合理的配慮に関する	に個別の教育支援計画や個別の指導計画 を作成・活用し、相談や報告をしながら	の教育支援計画や個別の指導計画に基づ き、他の教職員との連携を推し進めるこ とで、合理的配慮を踏まえて指導・支援 することができる。	を計画し、必要に応じて専門家に相談したり、助言または援助を要請したりする ことができる。	めに、連携・協働することができるよう、学校全体に働き掛けることができる。
教 育 I デ C	情報モラル 情報モラル教育について	<b>る</b> 。		員と連携・協働を推し進めることで、情 報モラル教育の共通理解を図ることがで きる。	に働き掛けることができる。	に、連携・協働ができるよう、教育に関 わる家庭や地域社会へも働き掛けること ができる。
ータの制	ICTの利活用 学習改善について	に関する基本的な知識や技能に		ICTを利活用し、「個別最適な学 び」と「協働的な学び」の一体的な充実 を意識した授業実践に取り組むことがで きる。	び」の一体的な充実を意識した授業実践	ることができるよう、学校全体に働き掛
利報・活・用	教育データの利活用 指導・支援について	教育データの利活用に関する 基本的な知識や技能について理 解している。	教育データを指導・支援に取り入れる ことができる。	きめ細かい指導・支援するために、他 の教員と連携・協働を推し進めること で、教育データを適切に利活用すること ができる。	に、連携・協働することができるよう、	教育データを利活用するための最先端 の知識や技能について学び続けることが できる。

# 名古屋市教員育成指標(栄養教諭版)

全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで一貫して大切にしていきます。 全ての教職員が対話を重ねながら、それぞれの学校園や子どもたちの実態に合った教育について考え、実践を進めていきます。

資質 能力	視点	STEP	着任時の姿	基礎を養う	専門性を高める	協働性を高める	様々な役割を果たす
配刀	責任恩	族・使命感 <sub>務員としての</sub>	基本的な教育公務員としての 専門性や資質・能力を身に付け ている。	員としての専門性や資質・能力を高められ			
	コンプ	質・能力について ライアンス は守について	法令を遵守し、規範意識をもっている。	ことを生かすことができる。	ことを発展・充実することができる。 法令を遵守し、規範意識をもって職務に	ことができる。 法令を遵守し、規範意識をもって職務に 専念することの重要性を学校全体に働き掛けることができる。	法令に関する豊富な知識をもち、規範意識をもった職務遂行等について学校全体として課題を発見し、改善することができる。
	教師として	<b>う的愛情</b> 子どもの成長を 持ちについて	子どもの存在を肯定的に捉え 理解するとともに、教育的愛情 をもっている。 社会に出るためのマナーや礼	ようと努め、教育的愛情に基づいて子ども の成長を促すことができる。	子どもの成長を促すことができる。	思いを巡らせ、教育的愛情に基づいて子ど もの成長を促すことができる。	子どもの将来を見通し、教育的愛情に基づいて子どもの成長を促すことができる。 社会一般のマナーや礼儀について学校全
		社儀について	儀を身に付けている。	<b>ర</b> .	意識し自ら律することができる。	意識することができるよう、学校全体に働き掛けることができる。 学校全体の気持ちもくみ取って関わり、	体として課題を発見し、改善することができる。 地域社会の人々の気持ちもくみ取って関
素		ニケーション 合意形成について	大の気付らをくみ取って思ぶ 疎通を図ることができる。 人権に関する基本的な知識や	子どもや保護者の気持ちをくみ取って関わり、共通理解や合意形成を図ることができる。	て関わり、共通理解や合意形成を図ること ができる。	共通理解や合意形成を図ることができる。	わり、共通理解や合意形成を図ることがで きる。
養	人権に 人権教育	権意識 関する知識や に関する理論、 差別について	人権教育に関する基本的な理論、偏見・差別を理解し、人権 を尊重する態度を身に付けてい る。	論、偏見・差別に気付く感覚を身に付け、 適切な指導ができる。	とで、人権に関する教育活動を充実するこ とができる。	学校全体で人権に関する教育活動を充実 するために、連携・協働することができる よう、学校全体に働き掛けることができ る。	よう、教育に関わる家庭や地域社会へも働き掛けることができる。
		営への参画 原の実現について	学校教育目標の実現のため に、他の教職員と連携・協働す る重要性を理解している。 学校における課題を解決する	「報告・連絡・相談」をしながら、自己の 学級や教科等に関する実践を進めることが できる。	や学年・学級において、子どもたちの実態 に合った教育を具体化して、実践を進める ことができる。	ことで、学校教育目標の実現に向けて、学	るよう、教育に関わる家庭や地域社会へも 働き掛けることができる。
		への対応 る課題について	ために、他の教職員と連携・協 働する重要性を理解している。	告・連絡・相談」をしながら、解決することができる。	携・協働を推し進めることで、解決することができる。	携・協働することができるよう、学校全体 に働き掛けることができる。	携・協働することができるよう、教育に関 わる家庭や地域社会、なごや子ども応援委 員会をはじめとした関係機関へも働き掛け ることができる。
		機管理 本制整備について	危機管理の基本的な視点や知 識について理解している。	員に相談や報告をしながら、対応すること ができる。	ことができる。	た体制整備に向けて、他の教職員と連携・ 協働を推し進めることで、共通理解するこ とができる。	事前、発生時及び事後の危機管理に応じた体制整備に向けて、学校全体の危機管理 意識の維持高揚が図れるよう、学校全体に 働き掛けることができる。
		全体計画 全体計画の立案と 推進について	論を理解し、知識を有してい る。	の役割を理解し、全体計画の立案と実践及 び評価、改善をすることができる。	導を推し進めることで、食に関する指導を 充実することができる。	計画を立案し、連携・協働することができ るよう学校全体に働き掛けることができ る。	楽し、家庭や地域社会と連携・協働することができるよう働き掛けることができる。
	食に 関する	給食時間の 給食時間の 指導について	ている。	材」として活用した食に関する指導を、学 級担任等と連携して行うことができる。	達段階に応じた指導を学級担任等と連携し て行うことができる。	と連携・協働した食に関する指導を行うことができる。	最先端の教育施策や理論も取り入れた給 食時間における食に関する指導について学 び続け、後進への指導助言を行うことがで きる。
栄 養 教	指導	教科等 教科等の指導 について	いる。	担任や教科担任等と連携した食に関する指導や資料提供を行うことができる。	級担任や教科担任等と連携しながら適切な 指導を行うことができる。	自校や近隣校での食に関する指導の充実に 寄与することができる。	最先端の教育施策や理論も取り入れた教 科等における食に関する指導について学び 続け、後進への指導助言を行うことができ る。
諭の専		健康課題へ の対応 個別的な相談指導 について	に関する基本的な理論を理解 し、知識を有している。	員や保護者と連携して対応することができ る。	対応をすることができる。	ついて適切に対応することができる。	個別的な相談指導の実践に関し、豊かな 経験と高度な専門性を生かし、後述への指 導助言を行うことができる。
性		栄養管理 献立作成について	る。	考慮し、献立作成をすることができる。	児童生徒の成長の特性や地域の実態など に基づき、適切な栄養管理をすることがで きる。	給食管理と食に関する指導を一体化した 視点での献立作成をすることができる。	学校給食を食に関する指導に生かすため の情報を全教職員に提供、助言することが できる。
	給食 管理	給食管理 学校給食について	学校給食の役割や基礎的な栄養管理について理解している。	する課題を理解することができる。	学校給食の調理、配食及び施設設備に関する課題を他の教職員と連携・協働を推し 進めることで、解決することができる。		学校給食における献立作成や調理、配食 及び施設設備に関する全市的視野での指導 的役割を果たすことができる。
	H-T	衛生管理 <sup>危機管理について</sup>	衛生管理の危機管理について 基本的な理論を理解し、知識を 有している。	安全の手引き」に基づき、衛生管理上の危機管理について理解し、対応することができる。	安全の手引き」に基づいた、調理従事者の	衛生管理についての日常的な評価、改善 及び学級における衛生管理への適切な指導 助言をすることができる。	
生		・助言について	理論や知識を理解している。	とができる。	と連携・協働を推し進めることで、情報共 有をして指導方針の共通理解を図ることが できる。	解を図るために、連携・協働することがで きるよう、学校全体に働き掛けることがで きる。	携・協働することができるよう、なごや子 ども応援委員会をはじめとした関係機関へ も、働き掛けることができる。
徒 指 導	-14	団経営 の仕方について	集団づくりに関する基本的な 理論や知識を理解している。	を基に、子どもが居心地よく過ごせる集団 づくりに取り組むことができる。	を生かし、子どもが安心・安全に過ごし、 多様な人と互いを認め合える集団づくりに 取り組むことができる。	を他の教職員とも共有し、自律して学び続 けられる集団づくりに取り組むことができ る。	<b>ర</b> .
ਚ		徒指導 課題解決について	論や知識を理解している。	生徒指導に関する理論や知識を、子どもの個や集団の実態に当てはめて指導・支援 することができる。	に、他の教員と連携・協働を推し進めるこ とができる。	りのために、連携・協働ができるよう、学 校全体に働き掛けることができる。	関係機関との連携・協働も視野に入れつ つ、生徒指導上の課題を解決するために指 導・支援することができる。
٤-		への対応	指導計画、合理的配慮に関する	子どもの実態を把握し、保護者とともに 個別の教育支援計画や個別の指導計画を作 成・活用し、相談や報告をしながら合理的 配慮を踏まえて指導・支援することができ る。	教育支援計画や個別の指導計画に基づき、 他の教職員との連携を推し進めることで、	計画し、必要に応じて専門家に相談した り、助言または援助を要請したりすること	に、連携・協働することができるよう、学
教 育 I デ C		<b>そうル</b> ル教育について	情報モラル教育に関する基本 的な理論や知識を理解してい る。	情報モラル教育の理論や知識を、子ども の個や集団の実態に当てはめて指導・支援 することができる。	と連携・協働を推し進めることで、情報モ		
I T タ や の 情		の利活用	ついて理解している。	力を育成するための授業実践に取り組むことができる。		「個別最適な学び」と「協働的な学び」 の一体的な充実を意識した授業実践につい 、他の教職員と連携・協働を推し進める ことで、ICTの効果的な利活用の仕方に ついて共適理解を図ることができる。	とができるよう、学校全体に働き掛けるこ
利報活・用		- タの利活用	教育データの利活用に関する 基本的な知識や技能について理 解している。			連携・協働することができるよう、学校全	教育データを利活用するための最先端の 知識や技能について学び続けることができ る。

# 名古屋市教員育成指標(管理職版)



全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、「子ども中心の学び」を 幼児期から青年期まで一貫して大切にしていきます。

全ての教職員が対話を重ねながら、それぞれの学校園や子どもたちの実態に合った教育について考え、実践を進めていきます。

資質	職種	教頭	校園長
	相以住	******	
能力	視点	学校教育目標の実現に向けて、校長を補佐し、 意見具申をしたり、調整力を発揮したりする	学校教育目標を実現し、常に学校園をよくするために、 リーダーシップを発揮する
		服務規律を遵守する中で、メンタルヘルスやハラスメン	服務規律を遵守する中で、メンタルヘルスやハラスメントに関す
	自己管理力	トに関する正しい知識と適切な対処方法をもつなどの自己	る正しい知識と適切な対処方法をもつなどの自己管理し、教職員の
		管理している。	ロールモデルとなる言動を心掛けている。
素	学び続ける		新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲と、教職
	意欲	と、多様な学びを全体に向けて啓発している。	員の資質・能力に応じた主体的な学びを対話を通して個々に啓発し   a
養		教職員の勤務状況を把握し、個々の教職員の適性や能力	ている。    教職員と専門職スタッフによる協働体制を構築し、チーム学校と
		に合わせた校務分掌について、校長に進言している。	大阪戦争と等日戦スメックによる励動体的を構築し、アーム学校と  して組織が活性化するマネジメントを行っている。
	人材育成		教職員の個々の適性や能力を把握し、対話を通して必要な研修の
		取組を推進している。	安議を奨励している。
		学校の実状や課題を踏まえた上で、学校教育目標の策定	
		に向けて校長に進言している。	学校教育目標を策定している。
		学校教育目標の進展状況を把握し、実現に向けた計画を	
		進めている。	に向けて指導・助言している。
		特別支援教育を推進するための体制づくりと環境整備に	特別支援教育を推進するために組織として十分に機能するよう教
		努めている。	職員全体に指導・助言している。
	学校園	社会に開かれた教育課程の編成に向けて校長に進言して	社会に開かれた教育課程を編成・管理している。
	経営	いる。	
		学校経営の効果や課題についての検証を実施し、校長に	学校園経営の検証を受けた次年度以降の方向性を確立している。
		改善について進言している。	*************************************
ア			教職員の心身の健康状態を把握し、多忙化解消に向けた具体的な
セ		消に向けた働き掛けをしている。 法令や事例等を基にした適切な労務管理に努めている。	取組を推進し、適正な状態を保っている。 法令や事例等を基にした適切な労務管理に向けて具体的な取組を
ス		(A) で 事内寺で 茎に した 趣 切な 力 物 自 柱 に 力 め て い る。	推進し、適正な状態を保っている。
		施設・設備の充実と安全管理が適正に行われるよう、教	
メ		職員と連携し点検している。	員全体に向けて指導・助言し、適正な状態を保っている。
レン	財務管理		財務管理の責任者としての自覚をもち、公金の管理、諸帳簿等の
1		校事務職員と連携し点検している。	整理が適正に行われるよう、教職員全体に向けて指導・助言し、適
			正な状態を保っている。
カ		健康問題の未然防止に向けた教職員の協働性や心理的安	教職員の心身の健康課題の解決に向けて、関係機関と連携して具
		全性を確保した職場環境づくりをしている。	体的な取組を推進している。
			防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を基にした適
	危機管理	にした適正な危機管理に努めている。	正な危機管理をし、教職員全体に向けて指導・助言することで、適 
		1. パルウエのセナビの旧本と仕む道しの明瞭に対して	正な状態を保っている。
		いじめや不登校などの児童生徒指導上の問題に対して、	いじめや不登校などの児童生徒指導上の問題に対して、専門職や 関係機関とも連携しながら問題の早期解決に向けて教職員に指導・
		長に報告・相談し、教職員に指導・助言している。	関係成例とも建物しながら问题の干剤解決に同りて教職員に指导・助言している。
		人権に対する深い知識や偏見・差別を認めない姿勢をも	1000
	人権教育の		へ催に対する深い知識や偏見・左別を認めない姿勢をもち、入権 が尊重された信頼される学校園経営の実現に向けて、具体的な取組
	推進	努めている。	を推進し、適正な状態を保っている。
フ		教職員や保護者、地域等と積極的にコミュニケーション	
ア	人間関係		相手の思いをくみ取りながら信頼関係を築くことができる職場づく
		<b>న</b> 。	りに向けて指導・助言している。
シ	調整力	教職員や保護者、地域等から知り得た情報を、必要に応	教職員や保護者、地域等からの情報収集に努め、必要に応じて共
IJ		じて校長に報告・相談している。	有している。
テ		学校経営に必要な家庭や地域、関係機関等からの情報収	学校園経営に必要な家庭や地域、関係機関等からの情報収集・分
1	家庭・	集・分析を行うとともに、適正に対応・交渉している。	析に基づき、適正に対応・交渉ができるよう教職員全体に向けて指
シ	地域・		導・助言している。
		開かれた学校を意識した、保護者や地域に向けての学校	
3	関係機関	経営に関する情報を発信している。 多様な教育的ニーズに応じた就学指導に対して、関係す	に関する情報の発信に向けて、具体的な取組を推進している。   多様な教育的ニーズに応じた就学指導に対して、適正かつ迅速に
ン	との連携	多様な教育的――人に心した説子指導に対して、関係する教職員と適正かつ迅速に連絡調整している。	判断し、関係する機関と連携しながら教職員に向けて指導・助言し
カ		♥ 30.77mm 元 C だ上い マルだでたた中国明正 ひ C V ** V o	でいる。
			T = 00

# 教員育成指標を基にした研修体系(教諭版)

様々な役割を果たす	STEP4						中 <b>堅教諭等資質向上研修[10年研]</b> (経験年数10年目の小学校・中学校・特別支援学校の教諭全員)	年研】(経験年数10年目の高等学校の教諭全員)	学校選賞研修会(I)(新任の教務主任・幼稚園主任全員、2年目の教務主任・幼稚園主任全員)	<b>学校運営研修会(Ⅱ)</b> (新任の校務主任全員)						等学校の教諭の希望者)	望者)	任、学部学年担当者、通級指導教室担当教諭の希望者)		学校の教諭、実習教師、常勤講師の希望者)	・特別支援学校・高等学校の教諭、実習教師の希望者)	・特別支援学校・高等学校の教諭の希望者)	<b>特別支援教育推進講座</b> (8年目以上の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭の希望者)	<b>ミドルリーダー研修</b> (10年研を修了した幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の教諭の希望者)	<b>学校情報化推進リーダー養成講座</b> (10年研を修了した小学校・中学校・特別支援学校の教諭の希望者)	<b>生涯学習研修</b> (11年目以上の幼稚園・小学校・特別支援学校・高等学校の教諭の希望者)	
協働性を高める	STEP3				、学校・中学校・特別支援学校の教諭全員)	6年数5年目の高等学校の教諭全員)	中堅教諭等資質向上研修[10年研](経験年数	高等学校中堅教諭等責買向上研修[高校10年研](経験年数10年目の高等学校の教諭全員)	学校運営研修会(I)	学校運営研修会(II)						<b>教育研究基礎講座</b> (5年研を修了した幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校 <sub>・</sub> 高等学校の教諭の希望者)	<b>教職大学院派遣研修</b> (5年目以上の小学校・中学校・特別支援学校の教諭の希望者)	<b>特別支援教育専門研修</b> (6年目以上の小学校・中学校・特別支援学校の学級担任、学部学年担当者、通級指導教室担当教諭の希望者)	高等学校学びの変革研修 (6年目以上の高等学校の教諭の希望者)	<b>教育相談基礎講座</b> (6年目以上の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭、実習教師、常勤講師の希望者)	<b>教育相談発展講座</b> (教育相談基礎講座を修了した幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭、実習教師の希望者)	教育研究員 (8年目以上の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭の希望者)	特別支援教育推進講座(8年目以上の幼稚園・小	<b>ミドルリーダー研修</b> (10年研を修了した幼	学校情報化推進リーダー養成講座(10	生涯学習研修 (11年目以上の幼稚園・小学材	
専門性を高める	STEP2	悉皆研修	5校の教諭全員)	全員)	<b>教職経験者研修会[5年研]</b> (経験年数5年目の小学校・中学校・特別支援学校の教諭全員)	高等学校教職経 <b>該者研修会[高校5年研]</b> 《経験年数5年目の高等学校の教諭全員》					<b>応募研修</b> I	ハ学校・中学校の通常学級担当教諭の希望者)	学校の教諭の希望者)	引支援学級の教諭の希望者)	<b>教師カパワーアップ</b> (4·5年目の小学校·中学校·特別支援学校の教諭の希望者)	教育研究基礎講座(5	教職大学院派遣研修	特別支援教育専門研	高等学校学びの変革	<b>教育相談基礎講座</b> (6	教育相談発展譚						
基礎を養う	金帳を乗り STEP1		<b>初任者研修会</b> (新規採用の小学校・中学校・特別支援学校の教	<b>高等学校初任者研修会</b> (新規採用の高等学校の教諭全員)								<b>若手教員のための学級集団づくり講座</b> (2~4年目の小学校	<b>特別支援学校授集づくり講座</b> (2~4年目の特別支援学校の教諭の希望者)	<b>教師カフォローアップ</b> (2·3年目の小学校·中学校·特別支援学級の教諭の希望者)	教師カパワーアップ(4・5年												
			初任者	高等學								₩	李	整													
· 茶	※2 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		〇初任者	○ 南等學	0	0	0	0	0	0		₩	特	教	0	Ш	0		0	П	0	Ш			0		
温量(	※ - の対応 言や支援 ※ C/		0	0	0	0	0	0	0	0			<ul><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li>&lt;</li></ul>		0		0	0	0		0		0		0		H
十 日 日 日 日 日 日 日	※ c : 活用		0	0	Н	Н	Н	Н	Н	Н		0	Ï	<ul><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li>&lt;</li></ul>	$\vdash$	0	Н	0	0	0		0	0	0 0	0		

アイデアいっぱい! 楽しい授業づくり講座(小学校・中学校・特別支援学校の教諭、常勤講師、非常勤講師、幼稚園10年研受講者の希望者)	○ コンピュータ講座(小学校・特別支援学校・高等学校の教諭、実習教師、常勤講師の希望者)	<b>発達障害のある子どもの理解と支援講座</b> (幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭、実習教師、常勤講師、非常勤講師の希望者)	<b>明日から使える!特別支援教育指導法講座</b> (小学校・中学校・特別支援学校の教諭、常勤教師、非常勤講師の希望者)	特別支援教育教室参観講座(障害のある子どもの指導を担当している小学校・中学校・特別支援学校の教諭、常勤教師の希望者)	個別の指導・支援推進講座(障害のある子どもの指導を担当している幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教諭、常勤講師の希望者)	高等学校ICT・ネットワーク研修講座 (高等学校の教諭の希望者)	<b>高等学校各科研修講座</b> (高等学校の教諭、実習教師、常勤講師、非常勤講師の希望者)	高等学校探究セミナー(高等学校の教諭、実習教師、常勤講師、非常勤講師の希望者)	<b>幼保小接続研修会</b> (幼稚園・小学校・特別支援学校の教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	各校1人以上が受講する研修	生徒指導研修会(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の生徒指導(生活指導)主任、生徒指導主事及び生徒指導関係教員)	<b>教育相談研修会</b> (小学校・中学校・特別支援学校の教育相談担当者等、教育相談を推進する教員)	特別支援教育コーディネーター研修会(幼稚園・小学校・特別支援学校・高等学校の特別支援教育コーディネーター)	オンデマンドで各校1人以上受講する研修	情報教育担当者研修会(小学校・中学校・特別支援学校の情報教育を推進する教員及び希望する教員)	人権教育担当教員研 <b>修会</b> (幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の人権教育を推進する教員)	該当する教諭が受講する研修	新規 特別支援学校。特別支援学級・通級指導教室教員研修会(小・中・特別支援学校担任・特別支援学級担任・通級指導数室担当のいずれも経験がなく、初めて担任・担当となった教諭・常勤講師全員)	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会(採用・異動により新しい学校に着任した特別支援学校の担任、小学校・中学校の特別支援学級の担任、通級指導教室担当の教諭、常勤講師全員)	日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座(日本語教育適応学級担当教員 配置校1人、日本語指導講師 全員、教諭・常勤講師の希望者)	その他	○ なごや教員カムパックサポート(育児休業中の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教員の希望者)	校内印体コンテンシ(全教職員の希望者)	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 ※2 ICTや情報・教育データの利活用 ※「特別支援学校」に高等特別支援学校も含む
$\mathbb{H}$	H	0	0	0	0	H	Н	$\vdash$	Н		Н	H	0		0	Н		0	0	Н		0	0	援を必
Н					H		H	0	0		0	0	H		Н			H	H	0		0	0	割や支
11 1	1 1			Ш	Ш	Ш	Ш	$\vdash$	Н		H	$\vdash$	Н		Н	Н		Н	Н	Н		Н	igsqcup	い配属
	$\vdash$						~																_	7,
0	0	0	0	0 0	0	0	0	0 0	0		0	0	0		0	0		0	0	0		0	0	※1 特別

# 教員育成指標を基にした研修体系(養護教諭版)

機 衛 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	基礎を養う	専門性を高める	協働性を高める	様々な役割を果たす
の教 指 「At 2 用 2 加	⊗ STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
		悉皆 <b>研修</b>		
0 0 0	新規採用養體數員研修会(新規採用の小学校・中学校・特別支援学校の養護教諭全員	校の養護教諭全員)		
0 0 0	高等学校新規採用養護教員研修会(新規採用の高等学校の養護教諭全員)	牧諭全員)		
0 0 0 0		<b>養護教員経験者研修会(1)[養護5年研]</b> (経験年数5年目の小学校・中学校・特別支援学校の養護教諭全員)	中学校・特別支援学校の養護教諭全員)	
0 0 0		<b>高等学校養護教員経験者研修会(I)[高校養護5年研]</b> (経験年数5年目の高等学校の養護教諭全員)	年目の高等学校の養護教諭全員)	
0 0 0			養 <b>腱教員経験者研修会(I)[養護10年研]</b> (経線年数10年目の小学校・中学校・特別支援学校の養護教諭全員)	ở・中学校・特別支援学校の養護教諭全員)
0 0 0			高等学校養護教員経験者研修会(エ)[高校養護10年研](経験年数10年目の高等学校の養護教諭全員)	数10年目の高等学校の養護教諭全員)
		応募研 <b>修</b> Ⅰ		
0 0 0	<b>教師カパワーアップ</b> (4·5年目の小学校·中学校·特別)	学校・中学校・特別支援学校の養護教諭の希望者)		
0		<b>教育研究基礎講座</b> (5年研を修了した小	<b>教育研究基礎講座</b> (5年研を修了した小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭の希望者)	
0 0 0		教職大学院派遣研修(5年目以上の小	<b>教職大学院派遣研修</b> (5年目以上の小学校・中学校・特別支援学校の養護教諭の希望者)	
0		教育相談基礎講座(6年目以上の小学*	教育相勝基礎講座(6年目以上の小学校・中学校・特別支援学校、高等学校の菱護教諭の希望者)	
0 0		<b>教育相談発展講座</b> (教育相談基	<b>数育和酸発展講座</b> (教育相談基礎講座を修了した小学校・中学校・特別支援学校、高等学校の養護教諭の希望者)	輸の希望者)
0			教育研究員(8年目以上の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭の希望者)	護数論の希望者)
0 0		<b>4</b>	<b>特別支援教育推進講座</b> (8年目以上の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭の希望者)	5等学校の養護教諭の希望者)
0 0			ミドルリーダー研修(10年研を修了した小学校・中学校・特別支援学校の養護教諭の希望者)	・特別支援学校の養護教諭の希望者)
0 0			事例検討の進め方職座(11年目以上の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭の希望者)	校・特別支援学校・高等学校の養護教諭の希望者)
		応募研修工		
0 0	学校保健研修課題(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭、保健主事、常	数論、保健主事、常勤講師の養護教諭の希望者)		
0	アイデアいっぱい:楽しい数果づくり難磨(小学校・中学校・特別支援学校の表徴教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	<b>愛学校の養護教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者</b> 〉		
0	コンピュータ酵配(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭、常勤講師の希望者)	を獲数論、常勤講師の希望者)		
0	発達障害のある子どもの理解と支援講應(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の養護教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	援学校・高等学校の養護教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)		
0	高等学校各科研修群座(高等学校の養護教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	師の希望者)		
0 0	高等学校探究セミナー(高等学校の養護教諭、常勤講師、非常勤請師の希望者)			
		各校1人以上が受講する研修	ė (d.	
0		生徒指導研修会	<b>生徒指導研修会</b> (小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の生徒指導(生活指導)主任、生徒指導主事及び生徒指導関係教員)	- 徒指導主事及び生徒指導関係教員)
0		教育相談研修会	教育相談研修金 (小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教育相談担当者等、教育相談を推進する教員)	炎を推進する教員)
0		特別支援教育コーラ	特別支援教育コーディネーター研修会(幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の特別支援教育コーディネーター)	◊の特別支援教育コーディネーター)
		オンデマンドで各校1人以上受講する研修	ナる研修	
0		情報教育担当者研	情報教育担当者研修会(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の情報教育を推進する教員及び希望する教員)	数員及び希望する教員)
0		人権教育担当教員	人権教育担当教員研修会(幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の人権教育を推進する教員)	を推進する教員)
		その街		
0 0 0	なごや教員カムバックサポート(育児休業中の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教員の希望者)	交・特別支援学校・高等学校の教員の希望者)		
0 0 0	校内研修コンテンツ(全教職員の希望者)			
※1 特別な配慮や支援を必要	₽とする子どもへの対応 ※2 ICTや情報・教育データの利活用	活用 ※「特別支援学校」に高等特別支援学校も含む		

# 教員育成指標を基にした研修体系(栄養教諭版)

様々な役割を果たす STEP4			<b>栄養教員経験者研修会(Ⅱ)【栄養10年研】</b> (経験年数10・11年目の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教			望者)	(\$Ig	校の栄養教諭の希望者)	交の栄養教諭の希望者)	<b>ミドルリーダー研修</b> (10年研を修了した小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者)						as 对于 女子 女子 的 的 n n n n n n n n n n n n n n n n n		高等学校の人権教育を推進する教員)						
協働性を高める STEP3		<b>栄養教員経験者研修会(I)[栄養5年研]</b> (経験年数5・6年目の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭全	栄養教員経験者研修会(II)[栄養10年研](経験 <sup>4</sup>			<b>教育研究基礎講座</b> (5年研を修了した小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者)	<b>教育相談基礎講座</b> (6年目以上の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者	<b>教育相談発展講座</b> (教育相談基礎講座を修了した小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者)	教育研究員(8年目以上の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者)	<b>ミドルリーダー研修</b> (10年研を修了した小		0希望者)		の希望者)	中八百条		<b>自当自制制法</b> (小士校·中士校·特加)人族士校·同年士代(5)	<b>人権教育担当教員研修会</b> (幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の人権教育を推進する教員)	5 研修			- 0-		寺別支援学校も含む
専門性を高める STEP2	<ul><li>ぶ 百 切 修</li><li>☆・特別支援学校の栄養教諭全員)</li></ul>	<b>栄養教員経験者研修会(1)[栄養5年研]</b> (経験年		<b>広募研修</b> I	教師力パワーアップ(4・5年目の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭の希望者	教育研究基礎講座(5年研	教育相談基礎講座(6年目	教育祖談発展講座			応募研修工	学校・特別支援学校の栄養教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	栄養教諭、常勤講師の希望者)	<b>発達障害のある子どもの理解と支援講座</b> (小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者)	多年 シー・エン・アクション なない こくこう はん サンド かんかい こくしょう はんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょく しょうしょく しょうしょく しょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	ストスロン・ハンハ		人権教育担	該当する栄養教諭が受講する研修	支援学校の栄養教諭・学校栄養職員全員)	その色	なごや教員力ムパックサポート(育児休業中の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の教員の希望者		データの利活用 ※「特別支援学校」に高等特別支援学校も含む
基礎を養う STEP1	757 新規採用栄養教員研修会 (新規採用の小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭全員)				教師カパワーアップ(4・5年							アイデアいっぱい:楽しい授業づくり講座(小学校・中学校・特	コンピュータ講座(小学校・中学校・特別支援学校の栄養教諭、	<b>き速障害のある子どもの理解と支援講座</b> (小学校・中						<b>栄養教員•学校栄養職員研修会</b> (小学校·中学校·特別支援学		こでや教員カムバックサポート(育児休業中の幼稚園・	校内研修コンナンツ(全教職員の希望者)	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 ※2 ICTや情報 教育デ
※ cv 対 デー な c	0	0	0		0			0				_	o ii	献		C				**		0	○ <b>救</b>	必要とす
※「 の対応 を対象	0	0	0		0			0						0								0	0	5支援を
生徒指導	0	0	0		0	Щ	0	0		0			Щ	Щ			$\parallel$	_				0	0	い配慮さ
の専門性栄養物質	0	0	0		0	0		Ц	0	0		0	0	Ц			#	4		0		0	0	
帐業	0	0	0		0	0	0	0	0	0				0				0				0	0	<del>~</del>

# 教員育成指標を基にした研修体系(管理職版)

素養	アセスメ	ションカ ファシリテー	教 頭 学校教育目標の実現に向けて、校長を補佐し、 意見具申をしたり、調整力を発揮したりする	校(園)長 学校教育目標を実現し、常に学校園を よくするために、リーダーシップを発揮する							
0	0	0	新任教頭研修会 2年目教頭研修会	新任校(園)長研修会 2年目校(園)長研修会							
0	0	0	教頭研修会	校(園)長研修会							
0			管理監督者のためのメンタルヘルス研修	管理監督者のためのメンタルヘルス研修							
0			人権教	育研修							
0	0	0	発達障害のある子ど 	もの理解と支援講座							
0	0	0	日本語指導を必要とす	日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座							
0			情報機器等の運営・管理講座								

## Ⅱ 研 修

## 1 基本研修

## 1-1 基本研修 I

		対 象 新規採用教諭全員								
				_						
略号	研修会名	小通常の学級	特別支援学級	中通常の学級	特別支援学級	特別支援学校	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会場	内容
初	初任者研修会	0	0	0	0	0	4・1(月)	午前中	む 講 堂	教育長訓話・開講式
103	教員としての使 命感を高め学習指 導・生徒指導等の 基本的な理解とと もに技能の習得を 図ります。	0	0	0	0	0	4・17(水)	13:30~	也各室	教師の心構え(1) 「使命・職責・コンプ・ライアンス」 (講話) 教師の心構え(2) 「『一人ひとりの人生の基盤としての理念』について」 (講義・演習) オリエンテーション 課題研究(1) (講義・協議)
		0	0	0	0	0	4・24(水)	13:30~	各学校 (オンデマンド)	教師の心構え(3) 「信頼される教師」 教師の心構え(4) 「『ナゴヤ学びのコンパス』について」 人権と教育 (講義)
		0	0	0	0	0	5 · 8(水)	13:30~	世 講 堂 各 室	教師の心構え(5) 「望まれる教師のマナー」 (講演) 課題研究(2)(講義・協議)
		0	0				5・15(水)	13:30~	也 各 室	教科等指導法(1)
				0	0	0	5・22(水)	_		「教研究の方法と実際」 (講義・協議・演習)
				0	0	0	5・29(水)	第5時限~	指定する学校	教科等指導法(2) 「授業の参観①」〜各教科等〜
		0	0				6 • 5(水)	1		(参観・協議)
				0		高等部	6·12(水)	13:30~	指定する学校	異校種の理解 「高等学校参観」
			0		0			13:00~	指定する学校	「特別支援学校参観」 (参観・講義・協議)
		0	0	0	0	0	7・22(月)〜	8·22(木)	各学校 (オンデマンド)	児童生徒理解(1) 「いじめ・不登校・問題 行動等について」 「子どもの自殺予防」 「児童虐待の理解と対応」 「保護者との関わり方」 特別支援教育の基本 (講義)
		0	0	0	0	0	7・22(月)	14:45~	也 講 堂	教師の心構え(6) 「名古屋の教育」(講演)

		ا مرياب	対		象					
			規採	_						
		小学		中学		特別				
略号	研修会名	通常の学級	別	通常の学級	別	支	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会場	内容
		の学	支	の学	支經	援				
		級	特別支援学級	級	特別支援学級	学				
			孙又		赦	校				
初		0	0	0	0	0	7・30(火)	9:00~	世講堂	ストレスマネジメント
									各室	野外活動の実際(1) 「野外活動の安全配慮」
										「ハイキング」
										野外活動の実際(2)
										「キャンプファイヤー」
										「野外調理の留意点」 野外活動の実際(3)
										「振り返り」(講義・演習・協議)
										課題研究(3) (講義・協議)
		0	0	保体	0	0	8・1(木)	午前又は午後	指定する学校	水泳実技研修(実習·演習)
			l	L	l	l	8 • 2(金)		日本ガイシアリーナ	※学校保健課主管
			学校				7・29(月) 勺		包各室(対面)	アイデアいっぱい!楽
			斗及で			爰学	又 8・2(金)~		又は 各学校(オンデマンド)	しい授業づくり講座 [中学校] (P33参照)
		殺打 	旦当を	と除く	.)		8・1(木)	午後	指定する学校	水泳実技研修(実習・演習)
									日本ガイシアリーナ	※学校保健課主管
		0	0		0	0	8・6(火)	9:00~	也 各 室	教科等指導法(3)
				0			8・9(金)			(講義・協議・実習・演習)
		0	0	0	0	0	8・23(金)	9:00~	世講堂	児童生徒理解(2)
									各 室	「子どもとの関わり方」
										(講義・演習・協議)
										児童生徒理解(3)
										「2学期に配慮すること」 異校種間協議「異校種の理解」
										(講義・協議)
		0				小・中		13:00~	指定する幼稚園	異校種の理解
						学部	のうち1 睢定			「幼稚園参観」
		0		0			9・25(水)	13:30~	各学校	(参観・講義・協議) 教科等指導法(4)
							o <b>2</b> 0 (, 1)	10.00	(オンデマンド)	「特別活動の指導法」
										「情報教育の在り方」
			0		0	0	10・ 2(水)	13:15~	県立	(講義) 教科等指導法(4)
							10 - 2(/)()	10.10 -	港特別支援学校	「授業の参観②」〜肢体不
										自由教育の実際~
		0	0	0	0	0	10・ 9(水)	13:30~	也 各 室	(参観・講義・協議) 課題研究(4)
							10 . 9(1/)	13.30/ ~		
										「指導力ある教師を目指
				0	0		10・23 (水)	第5時限~	指定する学校	して①」 (講義・協議) 教科等指導法(5)
		0	0				10・23(水)	AD O POTING S	1日にりる子区	「授業の研究(代表授業)」
						0	10・23、11・6(水)			(代表授業・参観・協議)
							のうち1 睢定			
		0	0	0	0	0	2・12(水)	13:30~	也各室	課題研究(5)
									講堂	教師の心構え(8) 「指導力ある教師を目指
										して②」(講義・協議)
										これからの教育(講話)
										閉講式

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会場	内容
高	高等学校	<u>a</u>	4・1(月)	午前中	也 講 堂	教育長訓話・開講式
	初任者研修会	新規採用教諭全員	4・17(水)	13:30~	也 1 講	教師の心構え(1) 「使命・職責・コンプ。ライブンス」
	教員としての使	77 17 Supris 13 Danis 12 S				(講話) 教師の心構え(2)
	命感を高め、教科指導・生徒指導等の基					「『一人ひとりの人生の基盤としての理念』について」(講義・演習)
	本的な理解ととも					オリエンテーション
	に技能の習得を図ります。		4・24(水)		各学校 (オンデマンド)	教師の心構え(3) 「信頼される教師」 教師の心構え(4)
						「『ナゴヤ学びのコンパス』について」 人権と教育 (講義)
			5・8(水)	13:30~	世 講 堂 1 講	教師の心構え(5) 「望まれる教師のマナー」(講演) 新任教師に期待すること(講義)
			5・15(水)	14:00~	■ 4・5研	教師となって(協議)教育課程について(講義)
			٧•٧		कुन जम्म	ICTの活用について (講義・演習)
			5・22(水)	14:00~	億 1∼3研	高等学校探究セミナー(1) (P36 参照)
			5•29(水)	13:00~	指定する学校	中学校参観と授業の研究 (参観・協議)
			6・12(水)	14:00~		教育相談演習(1) (講義・演習)
			7・22(月)	14:45~	仓 講 堂	教師の心構え(6) 「名古屋の教育」(講演)
			7・25(木)	9:00~	● 4~9研	教科指導実践① (演習・協議) 安全配慮義務について (講義・演習)
						教職員の服務について 保健室との連携について (講義・協議)
			7・26(金)	9:00~	□ 4~9研	人間関係理解 今後の人権教育に向けて 教育相談演習(2)(講義・演習) 教科指導実践②(演習・協議)
			夏季休業中 の1日	指定する時間	指定する会場 各学校(オンライン)	コンピュータ講 <u>座</u> (P38~P39参照)
			9・25(水)	14:00~	館 4・5研	教育相談演習(3) (講義·演習)
			10月~11月 のうち1日	13:30~	指定する学校	教科別教科指導法 (参観・協議)
			10 • 2(水)	14:00~	爺 1∼3研	高等学校探究セミナー(2) (P36参照)
			10・9(水)	14:00~	億 1∼3研	生徒指導講座(講演・演習)
			10・23(水)、 10・30(水)のが 掟が1日	13:00~	指定する学校	高等学校異学科参観 (参観·協議)
			11・20(水)	14:00~		高等学校における特別支援教育 (講義・演習) 生徒指導の在り方(講義・協議)
			11・27(水)	13:00~	指定する学校	高等学校特色ある取組参観 勤務校の特色について (参観・協議)
			1・29(水)	14:00~	也 大講義室	教師の進むべき道(講義) 閉講式

略号	研修会名	対 象	実 施 -	予定日時	会場	内 容
養	新規採用	<b>小中特</b>	4・1(月)	午前中	也 講 堂	教育長訓話・開講式
	養護教員研修会 養護教諭として の心構えを身に付け、基本的な知識・ 技能の習得を図り ます。	新規採用養護教諭全員	4・17(水)	13:30~	① 2 講	教師の心構え(1) 「使命・職責・コグライクス」 (講話) 教師の心構え(2) 「『一人ひとりの人生の基盤として の理念』について」 (講義・演習) オリエンテーション 求められる養護教諭像(講義・協議)
	J. 9 0		5 · 8(水)	13:30~	① 講 堂 2 講	教師の心構え(3) 「望まれる教師のマナー」(講演) 学校保健活動の推進について(1) 「熱中症とその対応」 「感染症とその対応」 (講義・協議)
			7・22(月)	14:45~	也 講 堂	教師の心構え(5) 「名古屋の教育」 (講演)
			7·30(火) 8·1(木) 8·2(金)	9:00~ 午後 9:00~	<ul><li>世 講 堂 2 講</li><li>指定する学校</li><li>世 情 研 2 講</li></ul>	「名古屋の教育」 (講像) ストレスマネジメント 野外活動の実際(1) 「野外活動の実際(2) 「キャンプファイヤー」 「野外調理の留意点」(議・演習) 児童生徒理解(1) 「保護者との関わり方」(講義・演習) 学校保健活動の推進について(2) (講義・協議) 保健教育の進め方(1)(講義・演習) 水泳実技研修(救命講習) (実習・演習) ※学校保健課主管 保健統計 (講義・演習) 救急体制と事故防止 (講義・協議) 保健教育の進め方(2)
						「生命の安全教育」 (講義・協議) 野外活動における養護教諭の役割 「野外でのけがの想定と応急手当」 (講義・協議)
			8・23(金)	9:00~	① 講 堂 2 講 各 室	児童生徒理解(2) 「子どもとの関かり方」(講義・演習・協議) 異校種間協議に向けて(講義・協議) 異校種間協議 (講義・協議)
			10・1(火)	13:30~	① 3 研	養護教諭が行う健康相談 「心身の健康問題への対応」「脳脊髄液域少症」「性、関する指導」「起立性調節障害」 (講義・協議)
			11・6(水)	第5時限~	指定する学校	保健教育の進め方(3)(参観・協議)
			2・12(水)	13:30~	① 2 講 講 堂	魅力ある養護教諭を目指して 「保健室経営計画」 (協議) これからの教育 (講話) 閉講式

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会 場	内 容	
護	高等学校	高	4• 1(月)	午前中	也 講 堂	教育長訓話・開講式	
	新規採用養護 教員研修会 養護教諭として の心構えを身に付け、基本的な知識・ 技能の習得を図ります。	新規採用養護教諭全員	4•17(水)	13:30~	② 2 講	教師の心構え(1) 「使命・職責・コンプライアンス」(講話) 教師の心構え(2) 「『一人ひとりの人生の基盤としての理念』について」(講・演習) オリエンテーション 求められる養護教論像 (講義・協議)	
	670		4·24(水)		各学校 (オンデマンド)	教師の心構え(3) 「信頼される教師」 教師の心構え(4) 「『ナゴヤ学びのコンパス』について」 人権と教育 (講義)	
			5·8(水)	13:30~	① 講 堂 2 講	教師の心構え(5) 「望まれる教師のマナー」(講演) 学校保健活動の推進について(1) 「熱中症とその対応」 「感染症とその対応」 (講義・協議)	
			7•22(月)	14:45~	也 講 堂	教師の心構え(6) 「名古屋の教育」(講演)	
			7・25(木)	9:00~	● 4~9研	保健指導実践① (演習・協議) 安全配慮義務について (講義・演習) 教職員の服務について 生徒講と保室との連黙さいて (講義・協議)	
			7·26(金)	9:00~	● 4~9研	人間関係理解 今後の人権教育に向けて 保健室での教育相談的な 関わり (講義・演習) 保健指導実践② (演習・協議)	
			8・2(金)	9:00~14:20	也 情 研 2 講	保健統計 (講義・演習) 救急体制と事故防止 保健教育の進め方(2) 「生命の安全教育」 (講義・協議)	
			夏季休業中 の1日	指定する時間	指 定 す る 会 場 各学校(オンライン)	コンピュータ講座 (P38~P39参照)	
			10・1(火)	13:30~	② 3 研	養護教諭が行う健康相談 「心身の健康問題への対応」 「脳脊髄液減少症」 「性に関する指導」 「起立性調節障害」 (講義・協議)	
				10月~11月 のうち1日	13:30~	指定する学校	保健室参観・保健室経営 (参観・協議)
			2・12(水)	13:30~	① 2 講 講 堂	魅力ある栄養教諭を目指して 「保健室経営計画」 (協議) これからの教育 (講話) 閉講式	

略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会 場	内 容
栄	新規採用	<b>小中特</b>	4・1(月)	午前中	也 講 堂	教育長訓話・開講式
	栄養教員研修会 栄養教諭として の心構えを身に付け、基本的な知識・ 技能の習得を図り	新規採用栄養教諭 全員	4・17(水)	13:30~	① 小講義室	教師の心構え(1) 「使命・職責・コグライグス」(講話) 教師の心構え(2) 「『一人ひとりの人生の基盤として の理念』について」(講義・演習) オリエンテーション
	ます。					栄養教諭の職務について 給食管理全般 (講義)
			5・8(水)	13:30~	伊 講 堂 小講義室	教師の心構え(3) 「望まれる教師のマナー」 (講演) 衛生管理(1) (講義)
			6・11(火)	9:00~	指定する学校	衛生管理(2) (講義) 食に関する指導(1) (講義・参観・協議)
			7・22(月)	14:45~	む 講 堂	栄養教諭の心構え(講義・協議) 教師の心構え(5) 「名古屋の教育」 (講演)
			7・30(火)	9:00~	世講堂 小講義室	ストレスマネジメント (講義・演習) 野外活動の実際(1)(2)(議・麗) 食に関する指導(2)(講義・演習) 課題研究(1)(講義・協議)
			8・1(木)	午後	指定する学校	水泳実技研修(救命講習) (実習・演習) ※学校保健課主管
			8・2(金)	9:00~	① 小講義室	食に関する指導(3)(4) 個別相談指導(1) 異校種間協議に向けて 課題研究(2)(講義・協議)
			8・8(木)	9:00~	世 講 堂	栄養教員経験者研修会(I) 受講者による中間報告会 (講義・発表・協議) 飲調が講・学統飲管理されて (講義・協議・演習) ※学校保健課共催
			8・23(金)	9:00~	<ul><li>① 講 堂</li><li>小講義室</li><li>各 室</li></ul>	児童生徒理解(1)(2) 食に関する指導(5)(講義・演習) 異校種間協議(講義・協議)
			10・9(水)	9:00~	指定する学校	衛生管理(3) 給食管理 栄養管理 (講義・協議) 食に関する指導(6) (代表授業・参観・協議)
			11・20(水)	11:30~	指定する学校	食に関する指導(7) 個別相談指導(2) 調査研究(参観・講義・協議)
			2・12(水)	13:30~	少 小講義室 講 堂	課題研究(3) 指導力のある栄養教諭を目指して (協議・講義) これからの教育 (講話) 閉講式

略号	研修会名	対 象	実施う	定日時	会場	内 容
事	学校事務職員	(A)	4・1(月)	午前中	仓 講 堂	教育長訓話・開講式
	研修会 学校事務職員 としての心構え	新規採用学校事務職員全員	4・19(金)	9:30~	<b>翰</b> 4·5研	学校理解、給与制度、 服務 (講義) ※学校事務センター主管
	を身に付け、学校運営に参画する態度を養います。		4・24(水)	13:00~	② 音楽室	オリエンテーション 学校運営等への参画に関する学校事務職員の在り方 (講義・協議) 望まれる学校事務職員のマナー (講演) 学校事務職員の職務とキャリア (協議)
			4・24(水)~8	8・30(金)	各学校 (オンデマンド)	学校事務職員に期待すること (講話) 学校事務職員の職務と 地方公務員法 公務員倫理 教職員のメンタルヘルス 人権と教育 教育課程と条件整備 「ナゴヤ学(のコンパス」について (講義)
			5・21(火)	13:30~		給与支払、文書・情報管理 (講義) ※学校事務センター主管
			6• 5(水)	9:30~	働 4・5研	経理・管財、営繕、旅費 (講義) ※学校事務センター主管
			6・28(金)	13:30~		厚生年金・雇用保険、 公立共済 (講義) ※学校事務センター主管
			7・22(月)~8		各学校 (オンデマンド)	学校基本調査 教科用図書 学校徴収金 給食会計 ミルク給食 教育扶助 就学援助・就学奨励費 (講義) ※学校事務センター主管
			9·13(金) 10·18(金)	9:30~ 13:30~	<ul><li>\$\mathbb{G}\$\$ 4 \cdot 5 \text{ ff}\$</li><li>\$\mathbb{G}\$\$ 4 \cdot 5 \text{ ff}\$</li></ul>	事例研究 (講義・演習) ※学校事務センター主管 年末調整 (講義)
			1・24(金)	13:30~	<ul><li>□ 4⋅5切</li><li>□ 4⋅5研</li></ul>	※学校事務センター主管 学校づくりに関する講義
						(講義・演習) ※学校事務センター主管
			1・29(水)	13:30~	② 音楽室	かたが目指す学校事務職員像 (発表・協議・講義) 閉講式

		対 象								
		紅果		J 5年目(		·     				
			学校		学校	1生.只				
		通	特	通	特	特				
略号	研修会名			常	別	別	実施	予定日時	会場	内 容
		0	支	の	支	支				
		学	援	学	援	援学				
		級	学	級	学	- 校				
			級		級	100				
$\oplus$	教職経験者	0	0	0	0	0	4・22(月)~	5・2(木)	各学校	5年目の教師に望むこと
	研修会								(オンデマンド)	(講話)
	[5年研]									「ナゴヤ学びのコンパス」について
	))( == 114) <del>)(</del> 6						(,)	Г		(講義)
	学習指導・生			0	0	中立	5・7(火)	14:45~	也 各 室	学習指導(1)
	徒指導の在り方	_				高				「『ナゴヤ学びのコンパス』を
	を追究します。	0	0			小	5・14(火)			踏まえた授業づくり」
										「1学期の実践に向けて」(講義・協議)
		0	0	0	0	0	7・22(月)~	8・30(金)	各学校	人権と教育
									(オンデマンド)	今日的な教育課題への対応(1)
										「不登校に関する理解と支援」
										「発達障害の可能性のあ
										る子どもの理解と支援」
										「いじめに関する理解と対応」
										「児童虐待の理解と対応」
										「子どもの自殺予防」
										今日的な教育課題への対応(2)
										「ICTを活用した授業
										力の向上に向けて」
										今日的な教育課題への対応(3)
						ds	0 - 7(¬k)	0:00-19:00	田 夕 字	「情報モラル」(講義)
			0			小	8 • 7(水)	9:00~12:00	各室	学習指導(2) 「1学期の実践報告と
									_	2学期の実践に向けて」
					0	中		13:00~		(協議)
						高				
		0	0	0	0	0	8・22(木)	9:00~12:00	世講堂	5年目の教師に必要なこと
									各 室	「アンガーマネジメント(怒りのコン
										トロール)」(講演・演習)
										今日的な教育課題への対応(4)
						,	4 4//1	14.45	0 4 -	「異校種間協議」(協議)
			0			小	1・14(火)	14:45~	仓 各 室	学習指導(3)
										「授業実践を終えて」
				0	0	中	1・15(水)			「研修を振り返って」
						高				(協議)

略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会場	内 容
擅	高等学校 教職経験者研修会 [高校5年研]	高 経験年数5年目の	4・23(火)	14:00~	億 4・5研	オリエンテーション 5年目の教師は期待すること (講義) 教科指導実践(1) (協議)
	教科指導・生徒指 導の在り方を追究 します。	教諭全員	4・24(水)~	6・17(月)	各学校 (オンデマンド)	教師の心構え 「ナゴヤ学びのコンパス」について 人権と教育(1) 「発達障害の可能性の ある子どもの理解と 支援」 (講義)
			5•7(火)	14:00~	<b>爺</b> 4⋅5研	生徒指導の在り方(協議) 人権と教育(2)(講義・演習)
			5・22(水)	14:00~	€ 1~3研	高等学校探究セミナー(1) (P36参照)
			6・18(火)	14:00~	館 6∼10 研	教科指導実践(2) -模擬授業- (協議)
			10月~11月 のうち1日	13:30~	指定する学校	教科別教科指導法 (参観・協議)
			10・1(火)	14:00~	館 4・5研	生徒理解の方法(1) -今日的な課題への対応- (講義・演習)
			1・14 (火)	14:00~	億 4・5研	生徒理解の方法2)-事例検討- (講義・演習) 研修のまとめ

								<u> </u>
略号	研修会名	対	象	実施 =	予定日時	会 場	内	容
養	養護教員経験者	小甲傳		4・23(火)	14:45~	也 大講義室	オリエンテー	
	研修会(I)						課題研究(1)	(講義・協議)
	[養護5年研]	経験年数5		7・23(火)	9:00~	也 大講義室	保健組織活動の意義	(講義・協議)
		養護教諭全	<b>員</b>				学校事故への対	芯、応急手当の
	学校保健に関す						実際「感染症とる	
	る専門的な知識・技						虚とその対応」	
	能の習得を図りま						今日的な健康課	
	す。						一疾患・生活習慣	
							の対応」「成長的	
							健康指導」「がん	
							の進め方」「生命	
								(講義・協議)
								(講義・協議)
				8·1(木)~	8 • 30(金)	各学校	学校保健研修 	
						(オンデマンド)		(P44参照)
							「人権と教育」	
							委員会との連	-
							学びのコンパン	_
							「発達障害の同	******
							子どもの理解。 	-> 100
						_		(講義)
				8・26(月)	9:00~12:00	也 大講義室	養護教諭が行	
							「起立性調質	
								講義・協議)
	in			9・24(火)	第5時限~	指定する学校	課題研究(3)	(参観・協議)
				2 • 4(火)	14:45~	也 2 講	信頼される養護教諭	を目指して
							課題研究(4)	(発表・協議)

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会 場	内 容
護	高等学校養護教員 経験者研修会(I) [高校養護5年研]	高 経験年数5年目の	4・23(火)	14:00~	館 4・5研	オリエンテーション 5年の教師で期待すること (講教) 保健指導実践 (協議)
	保健指導・生徒指	養護教諭全員	4・24(水)~	6・17(月)	各学校 (オンデマンド)	教師の心構え 「ナゴヤ学びのコンパス」について 人権と教育(1)
	等の在り方を追究します。					「発達障害の可能性の ある子どもの理解と 支援」 (講義)
			5・7(火)	14:00~	<b>億 4・5</b> 研	生徒指導の在り方(協議) 人権と教育(2) (講義・演習)
			7・23(火)	10:30~14:30	也 大講義室	学校事故への対応 応急手当の実際 「感染症とその対応」 「熱中症とその対応」他 今日的な健康課題等 「アレルギー疾患・生活習慣の乱れなど への対応」「成長曲線を活用した健康指導」「がんに関する学習の進め方」「生命の安全教育」 (講義・協議)
			8・1 (木)	~ 8・30 (金)	各学校 (オンデマンド)	学校保健研修講座(講演) (P44参照) 「子ども応援委員会との連携(講義)
			10月~11月 のうち1日	13:30~	指定する学校	保健室参観・保健室経営 (参観・協議)
			10 · 1(火)	14:00~	働 4・5研	生徒理解の方法(1) —今日的な 課題への対応— (講義・演習)
			1・14 (火)	14:00~	館 4⋅5研	生徒理解の方法2)-事例検討- (講義・演習) 研修のまとめ

略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会場	内 容
栄	栄養教員経験者 研修会(I)	<b>小中</b> 傳	4・23(火)	14:45~	む 講義室	オリエンテーション 食に関する指導の実際
	[栄養5年研]	経験年数5・6年   目の栄養教諭全員	-	0.00	北京	課題研究について(講義)
	栄養教諭として の専門的な知識・技	日の木食教訓主具	6・11(火)	9:00~	指定する学校	衛生管理、食に関する指導、栄養教諭の心構え (講義・参観・協議)
	能の習得を図りま		7・23(火)	9:00~12:00	也 講義室	課題研究(講義・協議)
	す。		7・22(月)~	8・30(金)	各学校	人権と教育
					(オンデマンド)	発達障害の可能性のある 子どもの理解と支援 (講義)
			8・8(木)	9:00~	也 講 堂	中間報告会 (講義・発表・協議) 食に関する指導・学校 給食の管理について (講義・協議・演習) ※学校保健課共催
			2 • 5(水)	14:45~	世 講 堂	最終報告会 (発表) 研修のまとめ (講義)

略号	研修会名	対 象	実施	 予定日時	会場	内 容
	学校事務職員 経験者研修会 [事務8年研] 受講者一人一人 の課題解決を図 るとともに、学校事	① 中 時 経験年数8年目の 学校事務職員全員	4・24 (水) ~	~8·30 (金)	各学校 (オンデマンド)	教育施策の諸動向 学校で求められる学校事務職員像(1) 「専門職の力を高めるために」 学校で求められる学校事務職員像(2) 「教職員との連携を図るために」 「ナゴヤ学(かコンパス」について (講義)
	務職員としての幅 広い見識を高め、組 織の活性化に向け た資質の向上を図 ります。		4・24(水)	13:30~	也 大講義室 音楽室	オリエンテーション 望まれる学校事務職員のマナー (講演) 学校事務職員の職務と責任 (協議)
			5.1(水)	14:00~	仓 音楽室	学校事務職員の職務と 責任 (講義) 課題研究(1) (講義・協議)
			6. 4(火)	13:30~	仓 音楽室	学校組織マネジメントと 学校事務職員の役割(1) (講義・演習) 課題研究(2) (協議)
			7・22(月)~8	·30(金)	各学校 (オンデマンド)	人権と教育(講演)
			10・1(火)	14:00~	也 音楽室	実践発表と意見交換 課題研究(3) (協議)
			2・18(火)	13:30~	也 音楽室	学校組織マネジメントと 学校事務職員の役割(2) (講義・演習) 課題研究(4) (発表・協議)

			対		象					
		経験	クリ 険年数			<i>T</i> )				
		/1512/0		(a)全						
		小学		中当						
m/r 🗆	TT 16 A A	通	特	通	特	特	<del>/→</del> +/→ -	<b>&gt;</b>		
略号	研修会名	常常	別	常常	別	別士	<b>天</b> 他 <sup>-</sup>	予定日時	会 場	内 容
		の	支	の	支	支經				
		学	援	学	援	援学				
		級	学	級	学	校				
L_			級		級					
$\oplus$	中堅教諭等資質	0	0	0	0	0	4 ⋅ 22(月)~	5・10(金)	各学校	10年目の教師への期待(講話)
	向上研修								(オンデマンド)	課題研究 I (1) ①②
	[10 年研]					-4-	5 01(1)	4.45	0 5 4	課題研究Ⅱ(1) (講義)
	受講者一人一人				0	中中	5・21(火)	14:45~	田 各 室	課題研究 I (2) (協議)
	交講者一人一人   の課題解決を図る					高	5・28(火)			
	とともに、教員と	0	0			小	ə•∠8( <i>9</i> ⟨)			
	しての幅広い見識						7 00/日)	0.00(A)	为 产针去	[ <del>                                     </del>
	を高め、学校の活	0	0	0	0		7・22(月)~	8・30(金)	各学校 (オンデマンド)	人権と教育 (講演) 今日的な教育課題への対応(1)
	性化に向けた資質									「情報モラル」
	の向上を図ります。									今日的な教育課題への対応(2)
										「ICTを活用した授業
										力の向上に向けて」
										今日的な教育課題への対応(3)
										「保護者からの要望への
										対応の在り方」
										今日的な教育課題への対応(4)
										「いじめに関する理解と
										対応」「子どもの自殺予
										防」「児童虐待の理解と
										対応」「不登校に関する
										理解と支援」 (講義)
		0	0			小	8・1(木)	9:00~12:00	也 各 室	課題研究 I (3) (協議)
				0	0	中		13:00~		
						高				
		0	0	0	0	0	8・20(火)	9:00~12:00	む 講 堂	教職員の服務について
									各 室	「教職員のコンプライアンス」
										(講義)
										今日的な教育課題への対応(5)
										「学校危機管理と対応」
										(講演)
		_	_	_	_					課題研究Ⅱ(2) (協議)
		0	0	0	0	0	12・26(木)	13:00~	世 講 堂	今日的な教育課題への対応(6)
									各室	「発達障害の可能性のあ
										る子どもの理解と支援」
										(講演)
										課題研究Ⅱ(3) (協議)

略号	研修会名	//学通常			員	特別支	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	숲	場	内	容
			人援学級	学級	父援学級	援学校						
$\oplus$			0			小	1•21(火)	14:45~	也 各	室	課題研究I(	4) (協議)
				0	0	中高	1・22(水)					
								択し、選択したカテ				
		**	詳組				要中堅教諭等資 	質向上研修 [10 年研	l] 研修マ	ニュアハ	レ=校長・学校	用=」参照
				カラ	テゴリ	J			• 講座等			
								ら使える!特別支援 害のある子どもの理り				
			A	児重	<b>置生</b> 後	走理解		指導・支援推進講座	TC ~1XH	47/		
								爱教育推進講座	61 <del></del>			
								S校内研修シリーズ アいっぱい!楽しい		諸応		
							〇 コンピ	ュータ講座	XX 2 ( )	D+49/===.		
			В	学習	图指導	拿		研究発表会				
								授業公開参加 S校内研修シリーズ	動画			
								学院派遣研修報告会				
			С	集	团経常	雪	○ 生徒指 ○ 教育相	尊研修会 談基礎講座				
								吹塞嵯峨座 S校内研修シリーズ	動画			
			D	7	えこごっ	ベント		リーダー研修研究発				
			ט		· • /	~ I.	O NIT	S校内研修シリーズ	動画			

略号	研修会名	対 象	実施-	予定日時	会 場	内 容
	高等学校 中堅教諭等資質			~ 4·19(金)	各学校 (オンデマンド)	「『ナゴヤ学びのコンパス』につ いて」 (講義)
	向上研修 [高校 10 年研]	経験年数 10 年目 の教諭全員	5・14(火)	14:00~	□ 4・5研	10年目の教師に期待すること(講義) 中堅教員として (講義・協議)
	受講者一人一	TAINS L. S	5・22(水)	14:00~	億 1∼3研	オリエンテーション 高等学校探究セミナー(1) (P36 参照)
	人の課題解決を図るとともに、教		年間のうち 2日	指定する時間	指定する会場	高等学校各科研修講座より 2講座を選択 (P35 参照)
	員としての幅広 い見識を高め、学		1 学期中の 午後1回	13:00~	企業等	社会体験研修先の選定及び訪問 (実習)
	校の活性化に向 けた資質の向上			└ ~ 8 · 30(金)	各学校 (オンデマンド)	人権と教育 発達障害の可能性のある子ども の理解と支援 (講義)
	を図ります。		夏季休業中 の2~5日	9:00~	企業等	社会体験研修 (実習)
			夏季休業中 の1日	指定する時間	指定する会場 各学校 (オンライン)	コンピュータ講座 (P38~P39参照) 発達障害のある子どもの理解と 支援講座 (P42参照) から1講座を選択
			9・24(火)	14:00~	也 音楽室	社会体験研修を終えて(講義・協議)
			10月~11月 のうち1日	13:30~	指定する学校	教科別教科指導法(参観・協議)
			10・2(水)	14:00~	億 1∼3研	高等学校探究セミナー(2) (P36 参照)
			1・21(火)	14:00~	፡ 4・5研	研修のまとめ (講義・協議)

略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会 場	内 容
<b>(</b>	養護教員経験者 研修会(Ⅱ)	<b>小</b>	5・29(水)	14:45~	む 小講義室	オリエンテーション 課題研究(1) (講義・協議)
	[養護 10 年研]	経験年数10年目	8・1(木)~	~ 8 · 30(金)	各学校	学校保健研修講座
		の養護教諭全員			(オンデマンド)	(P44 参照)
	学校保健を推					「人権と教育」「子ども応援委員会との連携」
	進するためのよ					「『ナゴヤ学びのコンパス』について」「発達
	り専門的な知識					障害の可能性のある子どもの理解と支援」
	や技能を身に付					(講義)
	け、資質の向上を		8・8(木)	9:00~	也 大講義室	保健組織活動の実際(講義・協議)
	図ります。					今日的な健康課題等
						「脳脊髄液減少症」「熱中症とその対応」「感
						染症とその対応」「生命の安全教育」
						(講義・協議)
						学校事故への対応 (講義・協議)
						課題研究(2) (講義・協議)
			8・27(火)	13:00~	也 1 研	養護教諭が行う健康相談
						「起立性調節障害」他(講義・協議)
			11・13(水)	第5時限~	指定する学校	課題研究(3) (代表授業・参観・協議)
			2• 5(水)	14:45~	也 大講義室	課題研究(4) (発表・協議)

略号	研修会名	対 象	実 施 う	予定日時	会 場	内 容
護	高等学校 養護教員経験者 研修会(II)		4・1(月)~ 5・14(火)	4·19(金) 14:00~	各学校 (オンデマンド) ⑥ 4・5研	「『ナゴヤ学びのコンパス』について」 (講義) 10年目の教師に期待すること (講義)
	[高校養護10年研]	の養護教諭全員		2.02(A)	6 W 14	中堅教員として (講義・協議) オリエンテーション
	学校保健を推 進するためのよ り専門的な知識 や技能を身に付		8・1(木)〜	~ 8・30(金)	名学校(オンデマンド)	学校保健研修講座 (P44 参照) 人権と教育 子ども応援委員会との連携 発達障害の可能性のある子どもの 理解と支援 (講義)
	け、資質の向上を図ります。		8・8(木)	9:00~14:30	仓 大講義室	保健組織活動の実際 今日的な健康課題等 「脳脊髄液減少症」 「熱中症とその対応」 「感染症とその対応」 「生命の安全教育」 学校事故への対応 (講義・協議)
			8・27(火)	13:00~	1研	養護教諭が行う健康相談 「起立性調節障害」他 (講義・協議)
			10 月~11 月のうち1 日	13:30~	指定する学校	保健室参観・保健室経営 (参観・協議)
			1・21(火)	14:00~	館 4・5研	研修のまとめ (講義・協議)

略号	研修会名	対	象	3	実 施 予 5	官日時	会	場	内	容
***	栄養教員経験者 研修(I) [栄養10年研] 受講者の年 のり、と 図り、と 図り、と 図り、と 図り、と の 管理や の の り、と の の り、と の の り、 と 学 に 、 の り、 と り の り、 と り の り、 と り に り の り 、 り の り い り い り と り い り い り と り と り い り と り と	① ● 経験年数 目の栄養				隔年実施の 度に実施し		6年度	は実施せず、	

## 1-2 基本研修Ⅱ

略号	研修会名	対 象	実 施 -	予定日時	会場	内 容
務	学校運営研修会(I)	① 甲 特 教務主任全員	8・29(木)	14:45~	世 講 堂	今日的な教育課題に対する教務 主任の役割とその対応について (講演)
務	教務主任の役割 と学校運営について学びます。	勿 ① 申 傳 新任教務主任全員	4・22(月)~	5・10(金)	各学校園 (オンデマンド)	新任教務主任に期待すること(講話) 教育活動の充実に向けて(1) (講義) ナゴヤ学びのコンパスについて (講義)
		幼稚園新任主任全員	7・25(木)	9:00~	● 1~3研	本 市学校教育の現状と課題(1) (講義・協議) 教育法規を踏まえた教務主 任としての役割 (演習) 学校運営と教育法規 (講義) 本 市学校教育の現状と課題(2) (講義・協議) 教育活動の充実に向けて(2) (協議)
			12・25(水)	9:00~		教育活動の充実に向けて(3) (協議) 教育相談体制づくり (講義) 教育活動の充実に向けて(4) (講義・演習)
<b>®</b>		幼小中特	5・13(月)~	5・24(金)	各学校園 (オンデマンド)	教務主任2年目に期待すること(講話) 危機管理と教職員の連携 (講演)
		経験年数2年目の 教務主任全員	7・22(月)∼	8 · 8(木)	各学校園 (オンデマンド)	人権と教育 (講演)
		経験年数2年目の 幼稚園主任全員	7·31(水)	9:00~12:00	<ul><li>⑥ 1~3研</li><li>各 室</li></ul>	特色ある教育活動の展開(1) (講義) 今日的な教育課題と対応(協議)
			12・24(火)	13:00~		学校事故等の危機管理 (協議) 特色かる教育活動の展開(2) (講義・演習) 研修のまとめ (協議)
梭	学校運営研修会 (Ⅱ)	√ ⊕ ♥ 校務主任全員	8・21(水)	14:45~	也 講 堂	職務に関わる課題とその対応(講演)
校	校務主任の職務 に関わる課題とそ の対応について学	①	7・23(火)	13:00~	也講堂	新任校務主任ご期待すること (講話) 学校運営と校務主任の役割(1) (協議) 学校運営と校務主任の役割(2) (講演)
	びます。		7・23(火)~	8.6(火)	各学校 (オンデマンド)	人権と教育 (講演)

略号	研修会名	対 象	実 施 予 定	日 時 会 場	内 容
<b>(±)</b>	生徒指導研修会 生徒指導の今日 的課題と対応につ いて理解を深めま す。	① 申 問 高 生徒指導(生活指導)主任、生徒指導主事及び生徒指導 関係教員 各校1人以上	9・25(水) 14:4		生徒指導に関する今日 的課題とその対応 (講演)
(f)	情報教育担当者 研修会 今後の情報教育 の在り方について 学び、情報教育担 当者としての資質 の向上を図ります。	① 中 側 高 各学校の教務主任 (高等学校につい ては教務主任等)、 情報教育担当者 等、情報教育を推 進する教員 各校2人 及び希望する教員	7・1(月)~ 9・2(	月) 各学校 (オンデマンド)	今日的課題に関する情 報提供 (講義)
(#)	教育相談研修会 教育相談に関わる今日的課題とその対応について理解を深めます。	小 中 得 高 教育相談担当者 等、教育相談を推 進する教員 各校1人以上 分 希望者	6・26(水) 14:4	5~ ② 講 堂	教育相談に関わる今日的課題とその対応 (講演)
	特別支援教育コーディネーター研修会 特別支援教育コーディネーターの役割及び特別支援教育に関わる今日的課題とその対応を学びます。	例の中特高 特別支援教育 コーディネーター 各校(園)1人以上	8・19(月) 13:00	)~ <sub>田</sub> 講 堂 各 室	インクルーシブ教育シ ステム構築の推進に向 けて、特別支援教育コー ディネーターの役割と 障害のある子どもの支 援体制の整備、特別支援 教育に関わる今日的課 題とその対応 (講演・協議)
***	栄養教員・学校 栄養職員研修会 食に関する指導 と学校給食の管理 の在り方について 学びます。	① 中 伊 栄養教諭・学校栄 養職員全員	8・8(木) 9:00	)~	栄養教員経験者研修会 (I)[栄養5年研]受講者による中間報告会 (講義・発表・協議) 食に関する指導・学校 給食の管理について (講義・協議・演習) ※学校保健課共催
(#)	学校事務職員 研修会 学校事務職員に 関わる今日的課 題について学び ます。	① 中 伊 学校事務職員全員 (臨時的任用・任期 付学校事務職員を 含む)	7・22(月)~8・30(金	<ul><li>各学校 (オンデマンド)</li></ul>	コミュニケーションを 豊かにするために (講演)

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会 場	内 容
講	講師研修会	<b>小</b>	5・17(金)	13:30~	<ul><li>② 講 堂</li><li>各 室</li></ul>	服務・コンプライアンス 児童生徒理解・特別支援
	教員としての心	常勤講師・非常勤講				教育・人権教育
	構え、基本的な指導	師のうち任用1年				学習指導・栄養指導・
	方法、児童生徒理解	目の全員と経験1				保健教育・生徒指導
	等について学びま	年未満で本研修未				(講義)
	す。	受講の希望者				
特	新規		4・16(火)	14:45~	各学校	特別支援教育の基本
	特別支援学校・				(オンライン)	指導・支援の方法
	特別支援学級・	特別支援学校担任・				(講義)
	通級指導教室	特別支援学級担任•	4・23(火)	14:45~	⑫ 2・3研	個別の指導計画の作成
	教員研修会	通級指導教室担当				(講義・演習)
	特別支援学校担	のいずれも経験が	6・11(火)	第5時限~	指定する学校	<校種・障害種別による
	任·特別支援学級担	なく、初めて担任・	6・18(火)			現地研修・教室参観>
	任·通級指導教室担	担当となった教諭・	6・19(水)			指導・支援の実際
	当として必要とな	常勤講師全員	6・26(水)			教材・教具の工夫
	る学級・教室経営や		7・2(火)			(参観・協議)
	指導・支援について	※初受講者は除く	のうち指定			
	学びます。		する1日			
特	特別支援学校・	<b>小中</b> 傳	7・25(木)	13:00~	也 講 堂	障害のある子どもの指
	特別支援学級・					導・支援に係る教育制
	通級指導教室	採用・異動により新				度、社会制度及び特別支
	教員研修会	しい学校に着任し				援教育の今日的課題と
		た現任校1年目の				その対応(講演)
	障害のある子ど	特別支援学校担任・				
	もの指導・支援に係	特別支援学級担任・				
	る基本的な内容及	通級指導教室担当				
	び今日的課題とそ	の教諭・常勤講師全				
	の対応について学	員				
	びます。	★ 対 立 : 建 並 ↓ ↓ ☆				
44	化道动 <u>羊</u> 灶叫TT <i>Ib</i>	※初受講者も対象	マ	<u></u>	##541 / 72	必須化治で明ナッガが
指	指導改善特別研修	該当教諭	通	. 年	教育センター	学習指導に関する研修 児童生徒理解に関する研修
	<b>亜依な巫ゖぇゝ</b>				勤務校	元重生徒理解に関する研修 学級経営、生徒指導に関する研修
	研修を受けるこ とが必要とされた					意欲・使命感に関する研修
	教員の指導力向上					息紙・使印感に関する研修 今日的教育課題に関する研修
	教員の指導の向上 を図ります。					
	<b>で囚ソみり</b> 。					
1					1	

## 教育課程

略号	研修会名	対 象	実 施	予定日時	会場	内 容
	小学校・中学校 教育課程研究集会	① 伊 全教員	8・20(火)~	3・14(金)	各学校 (オンデマンド)	文部科学省各教科等担 当指導主事連絡協議会 の報告
	小学校、中学校に おける教育課程実施 上の留意点の周知と 教員の授業力向上を 図ります。					
	特別支援教育 教育課程研究集会 特別支援教育における教育課程実施上の留意点の周知と教 員の授業力向上を図ります。	<ul><li>小 甲 特</li><li>全 教員</li></ul>	8·20(火)~	3・14(金)	各学校 (オンデマンド)	文部科学省各教科等担 当指導主事連絡協議会 の報告
	高等学校 教育課程研究集会 高等学校の学習指 導要領の趣旨徹底を 図り、教育課程編成 について学びます。	高 各校、各教科等 代表1人以上 (工業科、商業科は 各小学科1人)	8月~10月	15:00〜 (夏季休業中は 10:00〜12:00 又は14:00〜)	图 各室	文部科学省産業教育・ 各教科等担当指導主事 連絡協議会の報告及び 教育課程についての協 議

## 人権教育研修

ノベイ圧す	以月切炒				
略号	研修会名	対 象	実 施 予 定 日 時	会場	内 容
長長	校(園)長研修会(新任)校(園)長研修会(2年目)	切の	5・8(水)~5・31(金)	各学校園 (オンデマンド)	人権と教育 (講演・講義・演習)
頭(頭)	教頭研修会(新任) 教頭研修会(2年目)	① 甲 特 高 新任、経験年数 2 年目の教頭 全員(ただし高2 年目の教頭 は除く)	6・19(水)~7・19(金)	各学校 (オンデマンド)	
務	学校運営研修会(I) (2年目)	切	7・22(月)~8・8(木)	各学校園 (オンデマンド)	
校	学校運営研修会(Ⅱ) (新任)	小 中 特 新任校務主任全員	7・23(火)~8・6(火)	各学校 (オンデマンド)	
	ミドルリーダー研修	囫⊕ 問 ミドルリーダー研修受講者	7・22(月)~8・30(金)	各学校園 (オンデマンド)	
₩	教育研究員	<b>幼小中特高教育研究員</b>	7・5(金)	各学校園 (オンライン)	

	幼稚園中堅教諭等資質向上研修	<b></b>	7・22(月)~	8 · 30 (全)	各学校園	人権と教育
	切框图中全教訓寺員員问工听修 [幼稚園 10 年研]	②    経験年数 10 年目の教諭全員		0 00(亚/	付予収園 (オンデマンド)	八作 こ 秋 月   (講演・講義・演習)
	※義務教育課主管	私立幼稚園の希望者			(44) (41)	(時限 時我
$\oplus$	中堅教諭等資質向上研修	小 中 特 高				
$  \cup  $	中主教訓寺貞貞向工功修 [10 年研]	ひしめし   経験年数 10 年目の教諭全員				
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O				
	同等子校中全教訓等員員问工研修 [高校 10 年研]					
	学校事務職員経験者研修会					
	[事務8年研]					
	「手切り十切」	経験年数8年目の学校事務   職員全員				
<b>(</b>	養護教員経験者研修会(Ⅱ)		8・1(木)~8	·30(金)	各学校	
	[養護 10 年研]	経験年数10年目の養護教諭全員			(オンデマンド)	
虁	高等学校養護教員経験者研修会(II)					
	[高校養護 10 年研]					
栄	栄養教員経験者研修会(I)	<b>小中</b> 傳	7・22(月)~	8・30(金)	各学校	
	[栄養5年研]	経験年数5年目・6年目の栄			(オンデマンド)	
		養教諭全員				
<b>(</b> ±)	教職経験者研修会	<b>小中</b> 傳	7・22(月)~	8・30(金)	各学校	
	[5年研]	経験年数5年目の教諭全員			(オンデマンド)	
高	高等学校教職経験者研修会		4・24(水)~	6・17(月)	各学校	
انت	[高校5年研]	経験年数5年目の教諭全員			(オンデマンド)	
			5・7(火)	14:00~	⑥ 4・5研	
養	養護教員経験者研修会(I)	<b>小 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</b>	8・1(木)~8	·30(金)	各学校	
	[養護5年研]	   経験年数5年目の養護教諭全員			(オンデマンド)	
護	高等学校養護教員経験者研修会(I)	高	4・24(水)~	6・17(月)	各学校	
HZ	[高校養護5年研]	経験年数5年目の養護教諭全員			(オンデマンド)	
			5・7(火)	14:00~	◎ 4・5研	
初	初任者研修会	小中特高	4・24(水)		各学校	
高	高等学校初任者研修会	新規採用教諭全員			(オンデマンド)	
	新規採用養護教員研修会		4 · 24 (7k) ~{	٥٠٥(۵)	各学校	
養	机风休用食暖仪具听修宏		4 • 24 (/)() ~	0 • 30(金)	谷字仪 (オンデマンド)	
		新規採用養護教諭全員			(タンノマント)	
会生	高等学校新規採用養護教員研修会	高	4 · 24 (7k)			
護	问寸了汉利从沐川发皮狄其则形式	・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	+ · 4+(/JV)		谷子仪 (オンデマンド)	
	<b>实担协用学美数品加收</b> 办		4.04(=44)	0.20(1)		
栄	新規採用栄養教員研修会		4・24(水)~	0 • 30(金)	各学校 (オンデマンド)	
		新規採用栄養教諭全員	4 04/15	0.00(^)		
事	新規採用学校事務職員研修会		4・24(水)~	8・30(金)	各学校	
		新規採用学校事務職員全員	4 11/4	4 00 ( 1.)	(オンデマンド)	
権	人権教育研修会		4・11(木)~	4·30(火)	各学校 (オンデマンド)	
		研究実践校の新任・転任の校長、教頭、教諭、養護教諭、			(オンナマント)	
		(大) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )				
権	人権教育担当教員研修会	<b>匆小中特高</b>	11・1(金)~1	12・27(金)	各学校園	
لگان		人権教育担当者等、人権教育			(オンデマンド)	
		を推進する教員、各校(園)				
		1人				
$\Box$						

## 2 経営研修

<b>2</b>	全名研修	,			1	1
略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会場	内 容
長	校(園)長研修会		6・25(火)	14:10~	仓 講 堂	時代に即した学校(園) 経営 (講演)
長	校(園)長の職務について研修しま	幼の申特高	5• 1(水)	9:45~	也 講 生 各 室	学校(園)経営と校(園) 長の職務
	す。	新任校(園)長全員	5・8(水)∼	5・31(金)	各学校園 (オンデマンド)	(講話・講演・講義・協議・ 演習)
			7・31(水)	13:00~	<ul><li>1~3研</li><li>客室</li></ul>	
			8・1(木)~	8・30(金)	各学校園 (オンデマンド)	
			9•10(火)	9:00~	<b>@</b> 各 室 1~3研	
			1・24(金)	9:00~12:00	② 2・3研	
<b>(</b>		<b>匆小中特</b>	5 • 1(水)	13:30~	<ul><li>② 2・3研</li><li>各 室</li></ul>	学校(園)経営と教育理念 (講話・講演・講義・協議・
		経験年数2年目の 校(園)長全員	5・8(水)∼	5・31(金)	各学校園 (オンデマンド)	演習)
			7・9(火)	9:00~12:00	<b>1</b> ~3研 各室	
			8・1(木)~	8・30(金)	各学校園 (オンデマンド)	
			11・19(火)	9:00~	<ul><li></li></ul>	
頭	教頭研修会	小中特高	8 • 5(月)	13:00~	也講 堂	教育課題に対する理解と対応 (講義) 今日的な教育課題と教頭の
	教頭の職務につ	教頭全員				役割について(講演)
頭	いて研修します。	<b>小中特高</b>	5・17(金)	9:00~12:00	也講 堂	学校経営と教頭の職務
		新任教頭全員	5・20(月)∼	3・31(月)	各学校 (オンデマンド)	(講話・講演・講義・協議・ 演習)
			6・18(火)	9:00~12:00	<ul><li>世講堂</li><li>各室</li></ul>	
			6・19(水)∼	7・19(金)	各学校 (オンデマンド)	
			小・中・特別技援は 7・10(水)	9:00~12:00	也各室	
			高等学校は、 7・31(水)	9:00~	也 1 研	
			8・1(木)~	8・30(金)	各学校 (オンデマンド)	
			1・21(火)	9:30~12:00	② 2 ⋅ 3 研	<b> </b>
<b>(1)</b>		小中特高	6・18(火)	9:30~12:00	② 2·3研 各 室	学校経営と今日的課題 (講話・講演・講義・協議・
		経験年数2年目の 教頭全員	6・19(水)∼	7・19(金)	各学校 (オンデマンド)	演習)
		**	9・20(金)	9:00~12:00	6 1~3研 各室	
		高等学校は、 11・20(水)のみ参加	11・20(水)	9:00~	<ul><li>6 名 室</li><li>1~3研</li></ul>	
頭		高数頭全員	8・1(木)	13:00~	€ 1~3研	学校経営と今日的課題 (講話・講演・協議)
		シグトス		l		(四十十日 四十八尺 (四)时代)

## 3 専門研修

## 3-1 教科等研修講座

(1) アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座

(1)	アイナアいつはい	! 楽しい授業づくり	再坐			,
略号	研修会名	対 象	実施	予定日時	会場	内 容
略号	研修会名 アイデアいるり講座 各教科導方に、関学の基礎的なとは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	対象 (小学校) (小学校) (小学校) (小学校) (小学校) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小	7・26(金)	2日間とも次のように1講座 80 分(図画工作は 180分)で実施します。 ① 9:00~ ②10:40~ ③13:00~ ④14:40~	仓 客 室	<ul> <li>《低学年の教材及び授業展開の工夫</li> <li>→「傷学年の教材及び授業展開の工夫</li> <li>→「算・音・演習・実習」</li> <li>・中学年の教材及び授業展別の工夫</li> <li>・中学展別の工夫</li> <li>・「神学展別の工夫</li> <li>・「神学展別の工夫</li> <li>・「神学展別の工夫</li> <li>・「神学展別の工会</li> <li>・「神学の大力をでする。</li> <li>・日本書籍を必要とするのでは、</li> <li>・日本書籍を必要と当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要と当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要と当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要と当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要を当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要を当るのでは、</li> <li>・日本書籍を必要を当るのでは、</li> <li>・日本書を必要を当るのでは、</li> <li>・日本書を必要を当ます。</li> <li>・高学年のの工会のでは、</li> <li>・高学年のの工会のでは、</li> <li>・高学年のの工会のでは、</li> <li>・「は、等では、</li> <li>・「は、また、</li> <li>・「は、</li>     &lt;</ul>
			※右記の教科等が追加され、全ての教科等の 動画を視聴することができます。			⇒[国·理·家·体·保·外·学] <特設コース> ⇒[追加支援・情報モラル]
		(中学校) ① (中学校) 教諭、養護教諭、栄養教諭、常勤講師、非常勤講師の希望者 初 保健体育科及び特	7・29(月)	<ol> <li>9:00~</li> <li>213:00~</li> <li>※それぞれが半日(180分)の講座です。</li> <li>※終日の受講も可能です。</li> </ol>	也 各 室	〈中学校コース〉 ・中学校の教材及び授業展開の工夫 ⇒午前…[国・理・英・技・学] ⇒午後…[国・理・英・家・学] 〈特設コース〉 ・「ナゴヤ学びのコンパス」が目指す「子ども中心の学び」を踏まえた指導のポイント等 ⇒[子ども中心の学び] (講義・演習・実習)
		別支援学級担当以 外の受講者を含む		科等が追加され、全 徳することができま		[社・数・音・美・体・道]

#### (2) 教育研究基礎講座

I		1	7			1 -				
略号研	冬 会 名	対 1	象	実施	予定日時	会	<u> </u>	場	内	容
基教育研	究基礎講座			6・7(金)	13:30~	Ð	大詞	購義室	オリエンテーシ	/ョン
		幼小中特					各	室	「教育研究の見方・	考え方とは?」
		5年研を修っ	了した							(講義)
本市	の教育の方	教諭・養護教	諭・栄						「子ども中心の学び〜	って何だろう?」
向性を	学び、自己の	養教諭の希望	者						(	講義・協議)
授業改	善に向けた								課題研究検討会	₹(1)
課題解	決に取り組	※応募書が』	必要で						「日々の授業を振	もり返ろう!」
むこと	を通して、教	す。								(協議)
科等の	研究の進め			7· 5(金)	13:30~	1	大詞	購義室	「『個別最適な学び	』と『協働的
方を学び	びます。						各	室	な学び』の具体化を	·進めよう!」
									「子ども理解はできて	ているかな?」
										(講義)
									課題研究検討会	
									「2学期実践の計画を	
										(協議)
				8 • 2(金)	9:00~12:00	1	大詞	購義室	「特別じゃない特	別支援教育」
							各	室		(講義)
									「もっとタブレ	/ットPCを
									使えるようにな	ぬりたい!」
										(講義)
									課題研究検討会	
									「2学期実践の	
			<u>.</u>						いて考えよう!	
				9・13(金)	13:30~	®	各	室	教育研究員の分野	
			i						期研修報告)に参	
				9・20(金)、	13:30~	各学	校園		教育研究員の	
				9・27(金)、					(授業公開)	
				10 · 4(金)、					分野別検討会	
				10・11(金)、					会)に参加(参	※観・協議)
				10・18(金)、						
				10・25(金)、						
				のうち指定						
			ļ	する1日	10.00		1 -	H:	「古八〜市場・戸・・	) . 1 /a#-\tau
				11・1(金)	13:30~	1		<b>購義室</b>	「自分の研究を伝えた	_
							各	至	「子どもも教師も振	
									5m1a7m2444.1 / /	(講義)
									課題研究検討会(	
				11・29(金)	13:30~	Ð	各	宏	「まとめ方を工夫しよ 課題研究報告	
			ŀ							
				2 • 7(金)、	13:30~		各		教育研究員の	
				2・14(金)			美術	至	会①(②)に参	
				のうち指定					講座のまとめ	(講義)
				する1日						

#### (3) 高等学校各科研修講座

(3)	向守于仪台件训修	1 <del>117</del> / <del></del>	1			1
略号	研修会名・対象	部 会	実施予	定日時	会場	内 容
高	高等学校 各科研修講座	生 物	5・28(火)	9:15~	愛知県総合農 業試験場	農業と品種改良
	教科等の専門的	地学			菊里高校	名古屋の地形と自然災害 防災・減災教育をどのように進めるか
	な知識・技能を高めます。	書道	5・31(金)	14:00~	爺 1∼3研	生活の中で生きる書~書を愛好する心情を育むための指導法について~
		保健	6•4(火)		館 1∼3研	保健授業における精神疾患についての 取り扱いについて
	教諭・養護教諭・実	地理歴史	6・19(水)		名古屋港	現地研修を通して、社会事象を地理的な 視点から考察する力を養う
	習教師·常勤講師· 非常勤講師	美術	6・26(水)		名古屋芸術大 学	描き方から見るピーター・ブリューゲル の絵画
	各校1人以上	体育	7・5(金)		山田地域センター	運動パフォーマンスの改善のためのスポーツリズムトレーニングの理解と体感
		工業	7・16(火)		三菱電機名古 屋製作所FAコミュニケーションセンター	ものづくりや産業の発展に必要な生産 ラインの開発と未来
		福 祉	8・2(金)		西陵高校	介護技術:全介助の移動と移乗
		国 語	8•7(水)		働 4⋅5研	現代社会における古典の意義や価値を 探究する資質を育成するために
		生徒指導	10・9(水)		፡ 1∼3研	どう指導すればいいのだろう?どうか かわればいいのだろう?-生徒指導提 要の改訂にともなって-
		公 民	10・15(火)		名古屋出入国 在留管理局	出入国管理の実際を学ぶ
		数 学	10・16(水)		፡ 4・5研	データサイエンスにおける数学的な見 方・考え方
		情 報	11・8(金)		名古屋市立大 学	金融工学、統計学を通してみる AI とデータサイエンスのつながり
		物理化学	11・12(火)		東海コープ商品 検査センター	食の安全について
		家庭	11・13(水)		■ 8 研	生徒たちに知ってほしい経済の視点と 金融商品の基礎知識
		音 楽	11・19(火)		世 音楽室	音楽科における教材作成、授業における ICT活用について
		商業	11・26(火)		館 7 研	産業との連携教育の事例とその効果
		視 聴 覚	12・6(金)		名古屋産業大学	タブレット PC を絡めた視聴覚機器の活用方法と視聴覚教材の作り方
		養護	12・13(金)		名古屋市食品 衛生検査所	食の安全を考える
		英語	1・24(金)		■ 1~3研	観点別評価「主体」をどのように客観的 に評価するか
Ь——		I .	I .	l	1	<u> </u>

#### (4) 高等学校探究セミナー

略号	研修会名	対 象	実 施 予	定日時	会 場	内 容
探	高等学校 探究セミナー 今日的な教育課 題を探究すると	高 教諭・養護教諭・実 習教師・常勤講師・ 非常勤講師	5・22(水)	14:00~	億 1∼3研	デジタル・シティズン シップ教育 (仮題) (講演・演習)
	ともに、教科等の 専門的な知識・技 能を高めます。	各校1人以上	10・2(水)	14:00~	働 1∼3研	生徒指導提要の改訂に ともなう生徒指導の在 り方(仮題) (講演・演習)

## (5) 高等学校学びの変革研修

略号	研修会名	対 象	実 施 予	定日時	会 場	内 容
学	高等学校 学びの変革研修		4 ⋅ 17(水) ~ 4 ⋅	25(木)	各学校 (オンデマンド)	「『ナゴヤ学びのコンパス』 について」 (講義)
	学習指導要領の 趣旨に沿った高等 学校における授業	経験年数6年目以 上の教諭の希望者 4人程度	4・26(金)	13:30~	億 8 研	オリエンテーション 課題研究(1) (講義・協議・演習)
	の在り方を研究し、 教員としての資質・	※参加希望者報告	5・24(金)	13:30~	館 8 研	課題研究(2) (講義・協議・演習)
	能力の向上を図 ります。	書・応募理由書 が必要です。	6・28(金)	13:30~	館 8 研	課題研究(3) (講義・協議・演習)
			8 • 2(金)	9:00~12:00	② 2・3研	中堅教員としてのリーダー シップとコーチング (講義・演習)
			9・27(金)	13:30~	億 8 研	課題研究(4) (講義・協議・演習)
			10~11月のうち 1日 (合計4日程度)	13:30~	指定する学校	授業実践(授業・協議)
			1・10(金)	13:30~	፡ 1∼3研	課題研究(5)(協議・演習)
			1・31(金)	13:30~	印 1∼3研	研究発表会(発表・協議)

## 3-2 課題別研修講座

# (1) 情報教育講座

(番)   一	È						1
選官・管理講座 教育情報システムの運産・党理等に	略号	研修会名	対 象	実施 =	予定日時	会 場	内 容
(協議)  (学校情報化推進 リーダー養成講座 本市の教育情報 システムや1 CT 環境とその活用について研修します。 を学校ですす。  (おこう)	機	運営・管理講座 教育情報システ ムの運営・管理等に	園長全員  ① 田 特 高  各学校の新規管理職(新任教頭) ※簡易版を、希望する教員や学校事務職員向けに動 画配信(又は資料提供)	5・7(火) 5・8(水) 5・15(水) 5・22(水) のうち指定	14:45~	€ 9 研	系・校務系) について 管理職が責任をもって 行うことについて
7・1(月)~9・2(月)   各字校 (オンデマンド)   行職教育自生自者が修元   行 (オンデマンド)   行 (オンデマンド)   行 (オンデマンド)   行 (オンデマンド)   行 ( オンピュータ講座   1 - b 「友達と学び合おう (協働学習)」 (講義)   ※コンピュータ講座の申込   は必要ありません。   課題研究 (協議)   8・2(金)   9:00~12:00   ② 2・3 研   中堅教員としてのリーターシップとコーチング (講義・演習・協議)   ※ 宗ドルリーダー研修 * を加   ※ 京田・中野教員としてのリーターシップとコーチング (講義・演習・協議)   「報義・演習・協議   ※ 京 下 ( 学習系・校務系 )   情報活用能力の育成   情報モラル教育   著作権、セキュリティ ( 講義)   10・15 ( 大 ) 14:45~	推	<b>リーダー養成講座</b> 本市の教育情報 システムや I C T	① 中 傳 [10年研]受講修了 の教諭の希望者 10				う人材としての期待 (講義) 研修の進め方 課題研究 (協議)
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		ついて研修します。				(オンデマンド) ① C 研	(P28 参照) コンピュータ講座 I-b「友達と学び合おう(協働学習)」 (講義) ※コンピュータ講座の申込 は必要ありません。
(学習系・校務系) 情報活用能力の育成 情報モラル教育、著作 権、セキュリティ (講義) 8・28(水) 9:00~12:00 @ 8・9研 課題研究 (協議) 10・15(火) 14:45~ @ 9・10 研 課題研究 (協議) 12・25(水) 9:00~12:00 ② C 研 課題研究 (協議) 情 研 1・28(火) 13:30~ @ 9・10 研 課題研究報告 (発表・協議) 2・4(火) 14:45~ @ 9 研 これからの学校情報化(講義)				8・2(金)	9:00~12:00	① 2·3研	ダーシップとコーチン グ (講義・演習・協議)
10・15(火) 14:45~				8・21(水)	9:00~	● 9・10 研	(学習系・校務系) 情報活用能力の育成 情報モラル教育、著作 権、セキュリティ
12・25(水) 9:00~12:00							
情 研 1・28(火) 13:30~							
(発表・協議)         2・4(火)       14:45~       町 9 研 これからの学校情報化 (講義)					9.00 ~12.00	情 研	
				1・28(火)	13:30~	◎ 9・10研	
				2 · 4(火)	14:45~	館 9 研	

# ②コンピュータ講座

< 対象 >

Ⅰ、Ⅱ講座:教諭・養護教諭・栄養教諭・実習教師・常勤講師の希望者

(CI)	I 講座 活用し	ようタブレット	実施言	予定日時	会 場	内 容
	[I - a]	<b>小</b> 中 特	A 8・23(火)	9:00~12:00	<b>也</b> C 研	主に個別学習(個に応じる
	自分に合ったペー		B 7·23(火)	13:00~		学習、調査活動、思考を深める学習、表現制作、家庭
	(個別学習)	A~D各40人	C8・5(月)	9:00~12:00		学習)におけるタブレット
	(OS: Windows)	①~④各20人	D 8 · 5(月)	13:00~		活用授業事例の紹介・操作
			① 7・24(水)	10:00~12:00	各学校	体験
			② 7・24(水)	14:00~	(オンライン)	一人1台端末時代に合わせ
			③ 8・6(火)	10:00~12:00		て指導すべき情報モラルと 情報セキュリティ
			④ 8・6(火)	14:00~		(講義・実習)
	[I-b]	<b>小</b> 甲特	A 7·25(木)	9:00~12:00	<b>也</b> C 研	主に協働学習(発表や話合
	友達と学び合おう		B 7・25(木)	13:00~		い、協働での意見整理、協
	(協働学習)	希望者	C 7·30(火)	9:00~12:00		働制作)におけるタブレッ
	(OS:Windows)	A~D各40人 ①~④各20人	D 7·30(火)	13:00~		ト活用授業事例の紹介・操作体験
			① 7・31(水)	10:00~12:00	各学校	- 一人1台端末時代に合わせ
			② 7・31(水)	14:00~	(オンライン)	て指導すべき情報モラルと
			③ 8・5(月)	10:00~12:00		情報セキュリティ
			④ 8・5(月)	14:00~		(講義・実習)
	【 I - c 】 多様な人と学び合	小中特高	A 7·31(水)	9:00~12:00	也 C 研	主に協働学習(共同編集やオンライン会議)における
	おう(協働学習)	希望者	B 7・31(水)	13:00~		タブレット活用授業事例
	(OS : Windows)	A~F各40人	C8・6(火)	9:00~12:00		の紹介・操作体験
			D 8 · 6(火)	13:00~		一人1台端末時代に合わ
		高高護	E 8 · 9(金)	9:00~12:00		せて指導すべき情報モラ
		選択受講含む	F 8 · 9(金)	13:00~		ルと情報セキュリティ (講義・実習)
	[I-d]	<b>小中特高</b>	A 8・ 1(木)	9:00~12:00	<b>也</b> C 研	主に探究的な学習の各過程
	夢中で探究しよう (探究学習)	希望者	B 8・1(木)	13:00~		(課題の設定、情報の収集、 整理・分析、まとめ・表現)
	(0S:Windows)	A~D各40人	C8・8(木)	9:00~12:00		における、タブレット活用
		①~④各20人	D 8 · 8(木)	13:00~		授業事例の紹介・操作体験
		高高護	① 8・1(木)	9:00~12:00	各学校(オンライン)	一人1台端末時代に合わせ て指導すべき情報モラルと
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② 8・1(木)	13:00~		情報セキュリティ
			③ 8・8(木)	9:00~12:00		(講義・実習)
			④ 8・8(木)	13:00~		

Ⅱ講座 今日的な	課題について学ぼう	実 施 う	予定日時	会場	内 容
【II-a】 育てよう!情報モ ラル・情報セキュリ ティ		A 7・22(月)	9:00~12:00	仓情 研	体系的な情報モラル・情報 セキュリティ指導、最近の 課題(生成AI、著作権・ 肖像権、闇バイト、撮影罪
	①・②各20人	B 7・22(月)	13:00~		等) の情報提供と関連した 授業づくり (講義・実習) ※アイデアいっぱい
	高 高 護 選択受講含む	① 7•22(月)	9:00~12:00	各学校 (オンライン)	楽しい授業づくり 講座(小学校高学 年)の情報モラル
		② 7•22(月)	13:00~		(オンデマンド)と 同じ研修内容です。
【II-b】 事例から学ぶ、SN Sの危険とその対 応	① 中 特 高 希望者 72 人 高 高 護 選択受講含む	7・24(水)	9:00~12:00	② 2・3研	ネットトラブルの現状、 SNSを介したネット トラブル等の具体的な 対応方法や予防方法、情 報モラル指導 (講義・実習)
【II-c】 低学年からでき る!小学校プログ ラミング	① 告 希望者 A~D各30人	A 7·23(火) B 7·23(火) C 7·30(火) D 7·30(火)	9:00~12:00 13:00~ 9:00~12:00 13:00~	仓情 研	アンプラグドプログラ ミング・ビジュアルプロ グラミングを使った授 業展開と実習
	①~④各20人	① 7·23(火) ② 7·23(火) ③ 7·30(火) ④ 7·30(火)	9:00~12:00 13:00~ 9:00~12:00 13:00~	各学校(オンライン)	一人1台端末時代に合わせて指導すべき情報 モラルと情報セキュリティ (講義・実習)
【Ⅱ-d】 体験しよう!ロボ	小特	A 8· 7(水)	9:00~12:00	仓情 研	ロボットプログラミン グ体験
ットプログラミング	希望者 A~D各 18 人	B 8・7(水) C 8・8(木)	13:00~ 9:00~12:00		一人1台端末時代に合わせて指導すべき情報
		D 8 · 8(木)	13:00~		モラルと情報セキュリ ティ (講義・実習)

略号	研修会名	対	象	実施 吾	予定日時	会	場	内	容
The state of the s	高等学校 I CT・ ネットワーク研修 講座 高等学校という 成長段階及び各校 の教育活動に適応 したICIの在り方に ついて学びます。	高 希望者 9人程度		4・19(金) ~ 1・31(金) 上記期間の 原則毎週金 曜日(長期休 業中を除く)	14:00~	® C 指定する 指定する	•	による研修 実践報告 中間報告会 授業公開 授業参観 学習会	受定した課題 (実習) (発表・協議) (発表・協議) (発表・協議) (参観・協議) (満義・実習) (発表・協議)

### (2) ミドルリーダー研修

略号	ミトルリーダー研	対 象	実 施 <sup>-</sup>		会	2	場	内	容
(3)	<b>ミドルリーダー</b> <b>研修</b> 今日的な教育課	勿① 中 特 [10 年研]、[幼稚園 10 年研]、[養護 10	6・18(火)	13:30~		2 •	3研 室	開講式 学校運営の中 人材としての!	核を担う 期待 (講話)
	題における具体的な問題を究明し、学	年研]、[栄養 10 年 研] 受講修了の教						オリエンテー: 課題研究(1)	ション (協議)
	校運営の推進に向 けて必要なミドル	諭・養護教諭・栄養 教諭の希望者	7・22(月)∼	8・30(金)		校園	コッンド)	人権と教育	(講義)
	リーダーとしての	30 人程度	7・22(月)∼	8・30(金)のうち	企業		7 1.)	企業の経営	
	資質・能力の向上を 図ります。	※学校運営推進講	8・2(金)	1又は2日 9:00~	1	2 •	3研	中堅教員とし	(実習)
		座(I)と学校運 営推進講座(Ⅱ)						ダーシップと	コーチング
		の両講座修了者は、除きます。						子ども理解と の在り方	
		一方のみの修了 者は、受講可能	8・ 5(月)	9:00~	Ð	2 •	3研	(講義・演学年経営の進	
		です。						主体的・対話的	
		※応募書・応募理 由書が必要です。						(講 学校の危機管理	義・演習) 理
			8・8(木)	9:00~	1	2 •	3研	カリキュラム・マネ	
								不登校・いじゅ 特に対応する 育相談体制(講 学校の戦略マ	本市の教 ‡義・演習)
								くる (講義・演	(習·協議)
			8·26(月) 10·29(火)	13:00~		各		課題研究(2)	(協議)
			12·25(水)	13:30~ 9:00~	1	各 名 2·	室 室 3研	課題研究(3) 課題研究(4) 課題研究の生	
								特別支援教育	(協議) で実際 議・演習)
			1 • 8(水)	13:30~	Ð	各	室	課題研究(5)	(協議)
			2·4(火) 2·18(火)	13:30~ 13:30~	<b>(b)</b>	各 各	室室	課題研究(6) 課題研究(7)	(協議)
			2 10()()	10.00	)		3研	研究発表会(発	表・協議)

#### (3) 教育相談講座

(3)	教育相談講座					
略号	研修会名	対 象	実施予	定日時	会場	内 容
検	事例検討の 進め方講座  SCを活用した事例検討の進め方を 学び、事例について グループで協議することにより、解決に向けた指導・支援の在り方を探ります。	<ul><li></li></ul>	A 7・25(z) B 8・5(身) ※2回の日移 知らせしま	3) 13:00~	各学校園 (オンライン) 各学校園 (オンライン) 受講決定通知でお	事例検討の進め方(講義) 具体的事例に基づいた指導・支援の在り方(協議)
卷	若手教員のための 学級集団づくり講座 経験年数2~4 年目の若手教員が、 WEBQUの結果に表れ る学級集団の傾向 にふさわしいグル ープアプローチに ついて学びます。	① 伊 経験年数2~4年目 の通常の学級を担当 している教諭の希望 者 定員140人	A 8・6少 B 8・9会 ※2回の日程 知らせしま	を 13:00~	<ul><li>1~3研</li><li>1~3研</li><li>受講決定通知でお</li></ul>	オリエンテーション WEBQUの見方 (講義) WEBQUの結果を基にした 学級集団づくり (講義・演習)
相	教育相談基礎講座 子どもの心にや響くいいで、 学導をできるというでは、 をでいる見いでは、 ではいでは、 ではいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいでは、 ではいでは、 ではいでは、 ではいでは、 では、 ではいでは、 ではいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		7·23(火) 7·30(火) 8·7(水)	9:00~ 9:00~ 9:00~	<ul> <li>1~3研</li> <li>1~3研</li> <li>1~3研</li> <li>2·3研</li> <li>2·3研</li> <li>2·3研</li> </ul>	オリエンテーション 教育相談入門 (講義) 教育相談の基礎となる カウンセリングの考え方 (講義・演習) 教育相談の基礎となる カウンセリングの技法 (講義・演習) いじめ・不登校・児童虐侍・自殺 企図などの問題を抱える子ども の理解とその対応 (講義) カウンセリングの実際(演習) 子どもの実態や特徴に応じた 支援と保護者との連携★ (講義) グループアプローチ演習 (講義・ グループアプローチ演習 (講義・ アンセリングの実際(講習) 子どもを多面的に捉える 事例検討の実際(演習) 子どもを多面的に捉える 事例検討の実際(演習) み育相談の機能を生かし た学級経営(講義・協議)

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会	湯	内 容
相	教育相談発展講座 校内の教育相談 を推進することが できるように、学校 で生かすカウンセ	例 ① 中 特 高 教育相談基礎講座 を修了した教諭・養 護教諭・栄養教諭・ 実習教師の希望者	7・24(水)	9:00~	®	1·2相 各 室	オリエンテーション 関係機関との連携 (講義・協議) 発達障害のある児童生 徒への支援 (講義・演習)
	リングの手法や事 例検討の進め方、教 育相談の体制・機能 などを学びます。	定員36人程度 ※本講座の修了者 の再受講も可能 です。 ※応募書が必要で	8·8(木) 8·21(水)	9:00~ 9:00~	<b>(b)</b>	音楽室 各 室 1・2相	解決志向型のカウンセ リング (講義・演習) ABC 行動観察法による事 例検討の概要・実際 (講義・演習) 教育相談の推進
		す。	0 21(),()	3.00		各室	(講義・協議) カウンセリング演習 (講義・演習)
			8・29(木)	9:00~	•	1・2相	幼児から思春期までの 子どもの発達課題 (講義・演習) 2学期実践の計画 (講義・協議)
			12・26 (木)	9:00~12:00	Ð	1・2相	2学期実践の報告 (協議) 研修のまとめ

# (4) 特別支援教育講座

略号	研修会名	対 象	実 施 =	予定日時	会 場	内 容
発	発達障害のある 子どもの理解と 支援講座 発達障害のある 子どもの特性の理 解と障害特性に応	例 ① 中 特 高 校 (園) 長・教頭・教 論・養護教論・栄養教論・学校栄養職員・学校事務職員・常勤講師・	8・8(木)	13:00~	各学校園 (オンライン)	発達障害のある子ども の障害種に応じた特性 の理解と支援 (講演) ※学習障害のある子ど もの理解と支援につい て学びます。
E	じた適切な支援方 法について学びま す。 明日から使える! 特別支援教育 指導法講座	非常勤講師の希望者 600人程度 ① 中等 教諭・常勤講師・ 非常勤講師の希望	7・24(水)	13:00~	仓 講 堂	特別支援教育におけるタブレット端末の効果的な活用法 (講演)
	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室に在籍する子どもの各教科や自立活動の指導法について学びます。	350 人程度	7・25(木)∼	8・23(金)	各学校 (オンデマンド)	特別支援学校・特別支援 学級・通級指導教室にお ける指導の実際と指導 法の工夫 (講義・演習)

m <i>k</i> r □	加 炒 人 片	· 보 · 左	# #-	<b>₹</b>	<u> </u>	н #
略号	研修会名	対 象 		予定日時	会場	内 容
<b>個</b>	個別の指導・ 支援推進講座 具体的な事例に 基づき作成する個別の教育支援計画・ 個別の指導計画を 活用し、事例検討を 通して、障害のある 子どもの理解と個別の指導・支援の在 り方を学びます。	●① ● ● ⑥ 障害のある子どもの指導を担当している教諭・常勤講師の希望者 ※通級指導教室担当・通常の学級の担任も受講可能です。  午前:定員36人 午後:定員36人	8・5(月) ※午前・ ※午前のでも、 ※8日のでできません。	① 9:00~12:00 ②13:00~	也 各 室	個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した障害のある子どもの理解と個別の指導・支援の在り方 (事例検討) ※受講決定者は、事前に個別の教育支援計画・個別の指導計画(研修用様式)をあいあいシステムからダウンロードして作成し、提出していただきます。
	<b>特別支援教育</b> 推進講座 学校(園) におい て、インクルーシブ	例の中特高 経験年数8年目以 上の教諭・養護教諭 の希望者	7・29(月)	9:00~	① 1・2相	オリエンテーション 特別支援教育の概要 インクルーシブ教育シ ステム構築のための特 別支援教育(講義・協議)
	教育システム構築 のための特別支援 教育を推進する上 で必要な専門的知 識・技能や特別支援	25 人程度 ※応募書が必要です。	8 · 1(木)	9:00~ 9:00~12:00	<ul><li> 8・9研</li><li> 2・3研</li></ul>	障害のある子どもの心理と 二次障害の未然予防 キャリア教育と就労支援 (講義・協議) 中堅教員としてのリーダー
	教育コーディネー ターの役割につい て学びます。		8・21(水)	9:00~	也 音楽室	シップとコーチング (講義・演習) 障害のある子どもの理解の
						ためのアセスメント 保護者支援・家族支援 (講義・協議)
			10・1(火)	13:00~	児童福祉センター	教育と福祉の連携 (講義・協議)
			12・26(木)	9:00~	፡ 8・9研	個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用 合理的配慮の合意形成 の進め方 特別支援教育コーディ ネーターの役割 研修を振り返って (講義・協議・演習・発表)
	特別支援学校 授業づくり講座 特別支援学校(知 的障害)における教 科の指導の基本と	無経験年数2~4年 目の特別支援学校 教諭の希望者	6 · 4(火)	14:45~	② 1・2相	オリエンテーション 教科の指導の基本 特別支援教育における 授業づくり (講義) ※国語科の指導につ いて学びます。
	授業づくりについ て学びます。	15 人程度	7・31(水)	9:00~	む 1・2相	模擬授業と協議を通し た授業づくり (演習・協議)
			11・27(水)	14:45~	也 音楽室	授業実践後の振り返り (発表・協議)

略号	研修会名	対 象	実 施	予定日時	会 場	内 容
参	特別支援教育 教室参観講座	小 中 特	6·11(火) 6·18(火)	第5時限~	指定する学校	<校種・障害種別による 現地研修・教室参観>
	教育的ニーズの	本講座で設定した校種・障害種に関わ	6·19(水) 6·26(水)			指導・支援の実際 教材・教具の工夫
	ある児童生徒の担 任・担当として、必	る困難がある児童 生徒(通常の学級に	7・2(火) のうち指定			(参観・協議)
	要となる指導・支援 や学級・教室経営に ついて学びます。	在籍している児童 生徒も含む)を担 任・担当している教	する1日			【校種・障害種】 ①特別技援学校(知的障害) ②知的障害
		論・常勤講師の希望 者				③自閉症・情緒障害 ④病・外体調(病院性心) ⑤発達障害
		※初受講者は除く ※特と合同開催				⑥肢体不自由 ⑦弱視
		90 人程度 (特 <mark>受講者を含む</mark> )				⑧難聴・言語障害

## (5) 日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座

略号	研修会名	対 象	実施 =	予定日時	会	湯	内	容
	日本語指導を必要とする 児童生徒指導法講座	<b>小中特高</b>	6 · 3(月)∼	6・28(金)	各学 (オン	校 ゲマンド)	日本語指	導法 (講義)
		「日本語教育適応 学級担当教員」配置	7・2(火)	13:30~	館	1~3研	日本語排 実践	音導法の理論と (講義・演習)
	日本語指導を必要とする児童生徒の教育に必要な知識や技能について 学びます。	校1人(教諭・実習 教師・常勤講師) 「日本語指導講師」 (非常勤講師) 全員 上記以外の教諭・常 勤講師の希望者 管理職(校長又は教 頭)の希望者(6月・ 7月の研修のみ)	11・26(火)	14:45~	6	1~3研	報告会 ※11月 <i>0</i> 報告書	音導についての (発表・協議) )研修時に実践 を提出します。 識以外)

## (6) 学校保健研修講座

(オンデマンド) るために 養護教諭・保健主 事として、児童生徒 の心身の健康問題 に対応していくた めに必要な知識・技 選 選 選 選	略号	研修会名	対 象	実施予定日時	会 場	内 容
事として、児童生徒 の心身の健康問題 教諭の希望者 としていくた めに必要な知識・技 選 選 選 選	保	学校保健研修講座	<b>小中特高</b>	8・1(木)~8・30(金)		学校保健活動を推進す るために
す。		事として、児童生徒 の心身の健康問題 に対応していくた めに必要な知識・技 能について学びま	事・常勤講師の養護教諭の希望者			ー今日的な健康課題の 解決に向けてー(講演)

## (7) 管理監督者のためのメンタルヘルス研修(教職員課共催)

略号	研修会名	対 象	実施 =	予定日時	会	場	内	容
$\otimes$	管理監督者のための メンタルヘルス研修	幼小中特高	8・26(月)	13:30~	也 講	堂	管理職としての メンタルヘルス	職場の
		校(園)長の希望者						頁·演習)
X	メンタル疾患に ついての理解を深	<b>小中特高</b>	8・27(火)	13:30~	む 講	堂	管理職としての メンタルヘルス	職場の
	め、ケアの推進者と しての職場環境づ くりと個別対応に	教頭、学校事務職員 の主査・事務長の希 望者					(講復	賃・演習)
	ついて学びます。	<b>三</b>						

## (8) 教師力フォローアップ

略号	研修会名	対 象	実施 =	実施予定日時		場	内	容
F	教師力 フォローアップ	<b>⊕</b>	5月~2月	相談の上、決定し ます。	各学校		「子ども中心 向けた学習:	
		経験年数2・3年目					基本と児童	生徒理解に
	学習指導·生徒指	の、小学校教諭の希					おいて、受講	者が個々の
	導等に関する課題	望者 60 人程度、中					課題を解決	することが
	を解決し、実践的指	学校教諭の希望者					できるように	こ、教師力向
	導力の向上を図り	10 人程度、小・中学					上支援員が	学校訪問を
	ます。	校の特別支援学級					し、支援を行	<b>元います。</b>
		担当教諭の希望者						(年3回)
		20 人程度						

## (9) 教師カパワーアップ

略号	研修会名	対 象	実 施 -	予定日時	会	場	内	容
P	教師力 パワーアップ 経験年数4・5 年目の教員が、学 習指導等に関する 課題を解決し、実 践的指導力の向上 を図ります。	① 田 伊 経験年数4・5年目 の教諭、養護教諭、 栄養教諭の希望者	5月~2月	相談の上、決定します。	各学校		解決するこ ように、教 導主事が学 授業を参観	において、  々の課題を というでも当ませる。  校をもいうではでいる。   している。   して。   して。

#### (10) 幼保小接続研修会(義務教育課共催)

略号	研修会名	対 象	実 施 =	予定日時	会	場	内	容
	幼保小接続研修会 幼児教育と小学 校教育の円滑な接 続についての理解 を深めます。		8・7(水)	13:30~	也 講	堂	びをつなく	協働して学

### 4 長期研修

# (1) 特別支援教育専門研修

略号	研修会名	対 象	実 施 -	予定日時	会 場	内 容
	特別支援教育 専門研修		4・24(水)	14:45~	也 1相研	オリエンテーション研究計画の検討
		経験年数 6 年目以			_	(講義・協議)
		上で 45 歳以下の教	8・2(金)	9:00~	館 8 研	専門研修報告
	インクルーシブ	諭の希望者				課題研究の検討 I
	教育システムの構	若干名				(協議)
	築を追究し、本市の		11・19(火)	14:45~	<b>也</b> 1相研	専門研修報告
	特別支援教育を推	※学級担任・学部				課題研究の検討Ⅱ
	進するために必要	学年担当者・通				研修報告検討 I
	な専門性を身に付	級指導教室担当 者のみ				(協議)
	けます。	40705	12・24(火)	13:00~	<b>也</b> 1相研	課題研究の検討Ⅲ
		※応募書・応募理				研修報告検討Ⅱ
		由書が必要です。				(協議)
			3・14(金)	14:45~	<ul><li>②・3研</li></ul>	研修報告会 (発表)

#### (2) 教育研究員

(2)	教育研究員					
略号	研修会名	対 象	実施 =	予定日時	会場	内 容
	<b>教育研究員</b> 教育実践におけ	∅ √ 中 特 ⑥ 経 験 年 数 8 年 目 以	4・12(金)	13:30~	<ul><li>世講堂</li><li>2・3研</li><li>各室</li></ul>	開講式 教育研究員の心構え(講話) 分野別検討会 (協議)
	る具体的な問題を 究明し、本市学校教育の振興に資する とともに、教員の資質の向上を図ります。	上の教諭・養護教 諭・栄養教諭の希望 者 ※応募書・研究計 画書・実践資料	4・19(金) ~ 7・5(金)	13:30~	世 各 室 各学校園 (オンライン [6・7、7・5])	分野別検討会 研究計画検討会(協議) 授業研究(参観・協議) 研究の進め方(1)(2)(講義) 人権と教育 (講義)
	7 0	が必要です。	7・22(月)	9:00~12:00	② 2・3研	特別支援教育の実際(講義) 学校運営への参画(1)(2) (講義・協議) 長期研修に向けて(講話)
			3週間以内	10・4(金)のうちの	教育研究機関等	長期研修
			9·13(金) ~ 11·15(金) 11·29(金) 12·6(金) 1·10(金) ~ 1·31(金)	13:30~	<ul><li>② 2・3研 各 室</li><li>各学校園 (オンライン [11・1、11・29])</li></ul>	分野別検討会(協議) 授業研究(参観・協議) 研究のまとめ方 (講義) 研究総括検討会(協議)
			12・24(火)	9:00~12:00	① 2·3研 各 室	今、教員に求められるもの (講話) 分野別検討会 (協議)
			2·7(金) 2·14(金)	13:30~	也 各 室	研究発表会(発表・協議)
			2・21(金)	13:30~	② 2・3研 講 堂	1年の成果と今後の課題 (講話) <b>閉講式</b>

#### (3) 生涯学習研修

略号	研修会名	対 象	実 施 <sup>-</sup>	予定日時	会 場	内 容
涯	生涯学習研修 生涯学習の研究 を深め、本市教育の	切	4・16(火)	14:45~	也 講義室	オリエンテーション 生涯学習について 研究計画について (講義・講話・協議)
	向上に寄与します。	若干名 	6・25(火)	14:45~	む 講義室	研究内容の検討(協議)
			7月~8月の	一定期間、指定する	教育機関での研修	が予定されています。
		※応募書・応募理	11・20(水)	14:45~	む 講義室	研究内容の検討(協議)
		由書が必要です。	2・ 5(水)	14:45~	也 講義室	研究発表会(発表)

### (4) 教職大学院派遣研修

略号	研修会名	対 象	実施-	予定日時	会 場	内 容
院	教職大学院派遣研修 各地域や学校に おける指導的な役 割を果たすことの できる確かな指導	(一部の教職大学院・コースによっては独自の規定があ	2・19(水)	14:30~	① 音楽室 1~3研	事前研修会 ・ねらい、心構え ・教職大学院研修修了者に よる報告 ・意見交換 ・還元方法について (講話・発表・協議)
	理論と優れた実践 力や応用力を身に 付けます。	り、各大学の募集要 項を確認すること。) 若干名 ※履歴書・論文等 が必要です。	3 ·11(火)	14:00~	① 1·2研	教職大学院派遣研修報告会 (発表) ※発表者は、令和5年 度末修了者と、令和 6年度末愛教大派遣 修了予定者

# Ⅲ 研究調査

## 1 教育センター研究

内容	方 法
今日的な教育課題に関する調査研究、教科等の教育に関する研究など、当面する	喫緊の課題について研究を行います。
教育課題等について実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方など、名古屋市	今年度は、研究の成果をまとめ、発信し
の学校(園)教育の発展に資する研究・調査を行います。	ます。

## 2 教育情報提供·教育研究相談

種別	内 容	方 法
図書資料及び教育研究資料	教育関係書籍、雑誌、研究報告書 学校(園)要覧・記念誌、辞典、官 公庁出版物	図書室開館 平日 9:00~17:00(土曜日、日曜日、国民の祝日及び休日、12月29日~翌年1月3日は休館)、一人1回5冊まで、2週間以内の貸出しも行います。
教育史資料	学校(園)要覧・記念誌、明治以降 の教科書、教育関連公報写し、教 育史写真	研究調査部、教育史資料室、図書室にて収蔵しています。
人権教育資料	人権教育関係書籍・雑誌	研究調査部、人権教育資料室、図書室にて収蔵しています。
教科書資料	小・中学校教科書の展示、閲覧	図書室、教科書センターにて収蔵しています。 ただし、閲覧のみ。貸出しは行いません。
教育情報提供	収蔵図書、学習指導案、全国教育 研究報告等	くすのきネットなごや(校務用ページ)「研究・調査をする」等にアクセスすることで、様々な教育情報等を取り出すことができます。
教育研究相談	文献や研究校などの紹介、文献の 貸出し、研究方法の相談	図書室受付及び電話にて相談に応じます。 窓口 (図書事務室) TEL 683-6420

## 3 教育研究推進事業

事 業 名	対 象	募集件数	要 請 方 法
校内研修支援	名古屋市立学校(園)	38件程度	各学校(園)が推進しようとする研究・研修を進めるために必要な研究者や専門的知識を有した講師への謝金と、当該講師による指導に必要となる経費を補助します。また、教育センター指導主事が訪問して現職教育等を実施します。 (1コース 税込 100,000円)

# 4 広報·刊行物

事 項	内 容	方 法
教育センター NAGOYA	教育センターの研修・事業の紹介・報告、及 び、最新の教育動向などの紹介	Microsoft Teamsで各教員に電子配信するとともに、 文書掲示板とくすのきネットなごやに電子データを 掲載します。

#### 5 校内研究·研修支援(所員派遣)

事 項	内 容	方 法
授業研究 現職教育 研修会等	学校(園)の授業研究、現職教育、研修 会等への所員派遣	所員派遣の要請に応じます。先生方と共に授業等の改善、力量の向上を図ります。4月10日 (水) より随時申込みを受け付けます。 ※管理職の方から御連絡ください。 窓口(第3研究室)TEL 683-6408 P 644-154

#### (1) ユニット研修

人権教育・学習指導・特別支援教育・教育相談・情報教育に関する60分程度の研修を教育センター 指導主事が訪問して行います。

番号	ユニット研修名	主 な 内 容
1	人権教育①	『人権教育の手引き』を活用して、基本的な人権の内容や指導方法に
	- 『人権教育の手引き』を活用して-	ついて学びます。
2	人権教育②	学級経営や教科指導での人権教育への取組について、『人権教育の手
	- 『みんなで学ぶ人権ワーク集 (実践編)』を活	引き〜みんなで学ぶ人権ワーク集〜(実践編)』を活用し、演習を交
	用して一	えて学びます。
3	人権教育③	『学校における人権教育をすすめるために (実用編)』を活用し、人
	- 『学校における人権教育をすすめるために(実	権教育を推進していく上でのポイントを確認するとともに、具体的な
	用編)』を活用して一	実践計画を考えたり、見通したりします。
4	子どもが夢中で探究する道徳科の授業	道徳リーフレットを使った授業づくりや情報モラルに関する授業づ
		くりについて模擬授業体験を通して、進め方や評価について学びま
		す。
5	多様性を認め、共に学び合えるインクルーシブ教	子どもたちが、互いの多様性を認めながら、共に学び合うことができ
	育	るようにするための個別の支援方法や学級全体への働き掛けの工夫
		について学びます。
6	発達障害の可能性のある子どもへの支援	個別の指導計画を作成する演習を行い、通常の学級における発達障害
	ー個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成ー	の可能性のある子どもの指導・支援について学びます。
7	子どもがともに学ぶための合理的配慮とは	本人・保護者と学校が合意形成を図る手順や、障害のある子どもに必
		要となる合理的配慮について学びます。
8	「協働力」を高める学級集団づくり	親和的な学級集団づくりと、仲間との対話を通して学ぶ授業づくりを
		両立させながら、子どもたちの「協働力」を高めていく指導方法につ
		いて学びます。
		※「恊働的な学び」や「恊働学習」に関する内容ではありません。
9	ここがポイント!保護者からの要望への初期対応	保護者から学校(園)に寄せられる要望への初期対応の方法を紹介し
		ます。
10	一人1台端末時代の情報モラル	ネットトラブルの現状を知り、一人1台端末の活用等における情報モ
		ラルの授業について、コンテンツを活用して学びます。

#### (2) セミオーダー研修

「考えよう!○○学校の『子ども中心の学び』~重視したい学びの姿を引き出す授業づくり~」 「ナゴヤ学びのコンパス」が目指している「子ども中心の学び」を実現するために、各学校が重視したい 学びの姿を引き出す授業づくりについて考える研修です。各学校が重視したい学びの姿と重点を基に、 「自由進度学習」「交流」「プロジェクト学習」等の内容についての研修を教育センター指導主事が訪問し て行います。

#### (3) オーダー研修

研修の内容や形態など、教育センター指導主事と学校(園)とで話し合ってつくるオリジナルな 研修を教育センター指導主事が訪問して行います。

# Ⅳ 教育相談

# 1 子ども教育相談ハートフレンドなごや

相談方法	相談内容	相談の対象者	相談時間	申込み方法
電話相談	いじめ・不登校など学校生活に関わる	幼児から高校生年	月~金曜日	総合相談ダイヤル
	こと、発達の様子に関わること、就学	齢までの子ども本	9:30~19:00	TEL 683-8222
	や進路について気掛かりなこと、出国	人、その保護者、	土曜日	
	や帰国に際しての学校教育のこと等	学校関係者等	9:30~12:00	
メール相談	上の欄に同じ		随時(返信す	子ども教育相談ハートフレ
			るまでに数日	ンドなごやのウェブページ
			かかることも	から
			あります)	
来所相談	心理検査を含めて、上の欄に同じ		月~金曜日	来所相談予約専用ダイヤル
(予約制)			9:30~17:00	TEL 683-6415
訪問相談	不登校	小中学生の子ども	月~金曜日	保護者の申出に基づき学校
		本人、その保護者	9:00~16:00	から文書で申し込みます。
		学校関係者		(教育相談部長宛)
				<問合せ先>
				教育相談研究室
				TEL 683-6414
				IP 644-146

#### 2 学校支援

(1) 教職員相談 (※秘密は厳守します。無料です。個人的な悩みも相談できます。)

相談方法	相談内容	相談の対象者	相談時間	申込み方法
電話相談	子どもの指導や保護者との関わり方、教	教職員及びその	一般相談	教職員相談専用ダイヤル
来所相談	職員間の悩み等	家族	月~金曜日	TEL 683-6416
(予約制)	※指導主事又は臨床心理士がお受けしま		9:30~17:00	
	す。			※匿名で申し込んで相談
	心の健康に関する問題等		精神科医相談	することができます。
	※精神科医がお受けします。		※相談日時は、	
			お問い合わせ	※精神科医・弁護士・臨
			ください。	床心理士による相談は
	法律に関する問題等		弁護士相談	予約が必要です。
	※弁護士がお受けします。		第2・4水曜日	
			14:00~17:00	

# (2) 学校コンサルテーション

相談方法	相 談 内 容	相談の対象者	相談時間	申込み方法
学校又は	発達障害を含めた問題を抱える子どもへ	教職員	月~金曜日	教育相談研究室
教育セン	の支援や保護者への関わり方、支援に向		9:00~16:45	TEL 683-6414
ターでの	けた校内体制等			IP 644-146
面接	※具体的な支援について、関係する教職			特別支援教育研究室
(予約制)	員と指導主事が一緒に考えます。			TEL 683-6422
				IP 644-156

### (3) 情報・資料提供及び心理検査器具貸出し

. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
種 別	内容	申込み・問合せ先
情報·資料提供	教育相談・特別支援教育に関する情報の提供、文献・資料の提供	教育相談研究室
	をします。	TEL 683-6414
心理検査器具貸出し	KABC-II、 $WISC-IV$ の検査器具の貸出しをします。	IP 644-146
		特別支援教育研究室
		TEL 683-6422
		IP 644-156

# V 各種委員会

委員会名	対 象	実施-	予定日時	会 場	内容	۲۲ ۱
教育センター	運営委員	6月	14:45~	也 会議室	事業計画	
運営委員会		12 月			事業反省	

# VI その他の事業

事 業 名	内 容	訪 問 日 時	要 請 方 法
指導員学校訪問	「音楽」「体育、保健体育、保健教育」「家庭、技術・家庭」「図画工作、美術」「情報教育」「生活、理科」「小学校外国語科・外国語活動」の教科等において授業参観をし、指導助言をしたり、実技や安全の指導をしたりします。	後期:11月~2月 上記期間の火曜日終日 と金曜日午後	Microsoft Teamsにて申 込み手続きをしてくだ さい。

で
教育センターで実施している研修や所員派遣のプレゼンテーションデータ等を基に、30分~60分程度で取り組める以下のような研修パッケージをつくり、データを提供します。  マリンゼンテージョンスライドデータ・ナレーション例・演習ワークシート

事 業 名	対 象	内 容	サポート方法
なごや教員カムバッ クサポート	<b>匆小中特高</b>	・動画コンテンツによるオン デマンドサポート	名古屋市教育センターホームページ のなごや教員カムバックサポート専
職務に復帰する際に、 児童生徒理解や授業づ くりを円滑に進めてい くためのサポートをし	出産休暇および 育児休業等によ り一時的に教職 から離れている	NITS動画や教育センター作成の解説動画などを掲載しています。	用ページを開きます。 【パスワード:kusunokiComeback@2023】 「動画コンテンツ〜先生の学びをサ ポートする動画 Link 集〜」から必要
ます。	教員のうちの希 望者		な動画を選んで、視聴できます。
		・資質向上支援員による電話 サポート 【受付9:30~16:00】	電話サポートを希望する場合は、サポート窓口へ電話します。 1683-6428 ※電話の最初に「なごや教員カムバッ
		資質向上支援員が復帰に向けての不安解消、新しい教育課題やICT機器の活用など、動画の紹介などのサポートを行います。	クサポートのことで連絡しました」 と伝えてください。

事 業 名	内 容	備考
視聴覚ライブラリー	16ミリ映画フィルム・DVD・ビデオ等の視聴覚	視聴覚ライブラリー貸出し
	教材及び視聴覚機器の貸出し受付・管理などライ	9:30~16:00(除く 12:00~13:00)
	ブラリーの運営を行います。	TEL 671-8522
	詳細は、「名古屋市教育センターホームページ」→ ブラリーの検索はこちらから」→「利用の手引き」?	

事項	内容	備考
学校支援(集計処理	) 成績統計処理申請の調整、マークシートの管理、 処理手順の案内などを行います。	集計・統計用専用システムを使用

# Ⅷ 施設利用及び研修等への参加

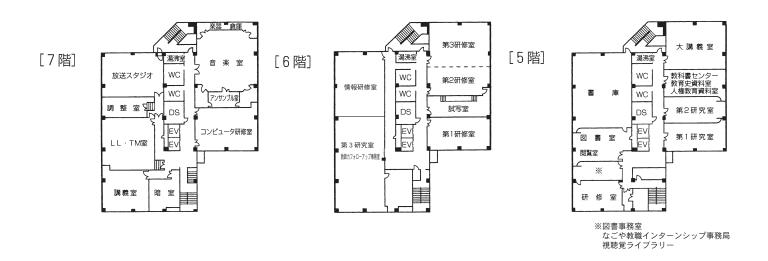
# 1 施設の貸与

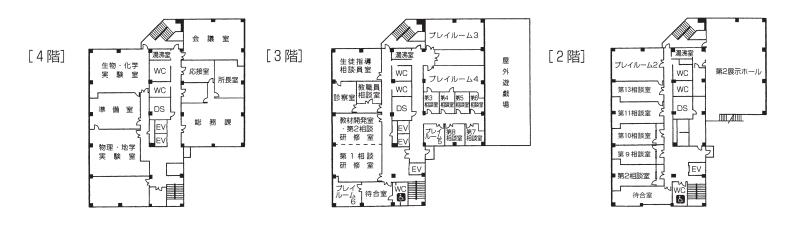
	<b>光記の</b> 廷矩	<b>法</b> 田 n ± 1818	利用目	申込み	利田しの公幸	/进 <del>立</del>	
	施設の種類	使用時間	受付期間	申込み手続き	利用上の注意	備考	
	講 堂	9:00~ 21:00	1 の公式行事 学式的行事 等 6 年度が 6 年度が 7 年度以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1 電話による付いによる付いただりませがです。 ただりの公行事では、 (園)の的では、 のいてなのによるによる (園)のののでは、 でいてるのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	<ul><li>○ 詳細は電話で 問い合わせてく ださい。</li></ul>	
教育センター	第1展示ホール 第2展示ホール	9:00~ 17:00	別途通知しま 2 その他 使用する月の 3から 日から	教育センター 総務課へ所定 の「施設使用	による仮申込みができます。 2 学校(園)の公行 事には料ででする。 3 「使用時間」に	教育センター TEL 683-6402 IP 644-158	
次日 L V /	第1研修室 〈 第3研修室	月曜日から金曜日 (祝日を除 く) 9:00~ 17:00	1 の・等 年程第年途 で 1 のの初 で 1 のの 1 で 2 使 2 日 の 2 に か 2 に か 3 に か 4 に か 5 に か 5 に か 6 日次 7 別す 2 使 2 日 か 7 別す 2 に 2 に か 7 別す 2	申込書」を提出してください。	3 に片含の内だ 等、たの償きに片含の内だ 等、たの償き	教育館 TEL 961-2541 IP 644-157  ○ 市域で震度5 強以上の地きが発生したときは施設を休館します。	
教 育 館	第1研修室 〈 第10研修室	月曜日から金曜日 (祝日を除く) 9:00~ 21:00 土曜日日 び祝日 9:00~ 17:00	同 上	教育館管理事務室へができます。おきまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	5 正よのをはせ用したで 展時付て 敷す。当ら目変認んのたりき 示に要ぐ 地のたりき 示に要ぐ 地でまります ホは員だ 内はがない。 がず。 かんこう がった かんこう がった かんこう がった かんこう がった かんこう がんしょう はいかん がった はいん かんこう はいかん かんしょう はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん		

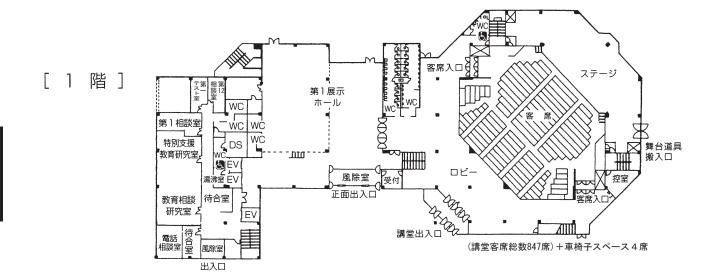
# 2 会場案内

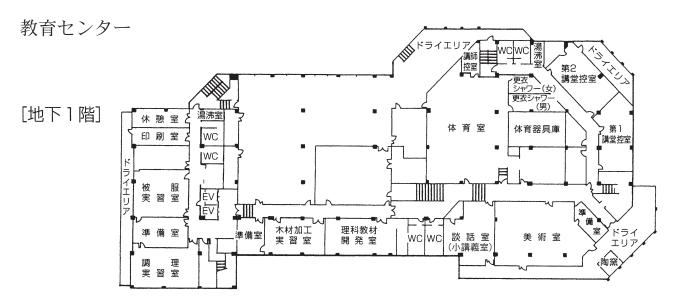
	【 教育センター (也 】									
階	室名	略 記	階	室名	略 記					
7 階	コンピュータ研修室	C 研	3 階	第 1 相 談 研 修 室	1 相					
	L L · T M 室	LL·TM		教材開発室・第2相談研修室	2 相					
	講    義    室			教職員相談室・診察室						
	放送スタジオ			生 徒 指 導 相 談 員 室						
	音 楽 室			第3・4・5・6・7・8相談室						
	暗    室			プレイルーム3・4・5・6						
6 階	第 3 研 究 室			屋 外 遊 戲 場						
	教師力フォローアップ事務室		2 階	第2・9・10・11・13相談室						
	情 報 研 修 室	情 研		プレイルーム2						
	第 1 研 修 室	1 研		待 合 室						
	第 2 研 修 室	2 研	1 階	教育相談研究室						
	第 3 研 修 室	3 研		特別支援教育研究室						
5 階	第 1 研 究 室			第 1 テ ス ト 室						
	第 2 研 究 室			第 1 ・ 12 相 談 室						
	教 科 書 セ ン タ ー			電 話 相 談 室						
	教育史資料室			第 1 ・ 2 展 示 ホ ー ル						
	人 権 教 育 資 料 室			講堂						
	大 講 義 室									
	図 書 室 ・ 閲 覧 室 なごや教職インターンシップ事務局		地下1階	被 服 実 習 室	被服					
	視聴覚ライブラリー			調理実習室	調理					
	研 修 室			木 材 加 工 実 習 室	木 工					
4 階	総 務 課		]	理科教材開発室	理教材					
	応 接 室		]	美 術 室						
	会 議 室			体 育 室						
	生物 化学 実 験 室	生 物		第 1 講 堂 控 室	1 講					
	物 理 ・ 地 学 実 験 室	物理		第 2 講 堂 控 室	2 講					
				談話室(小講義室)	小講義室					

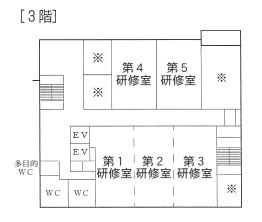
		【教育	育 館	(£	<b>彰</b> 】											
ß	皆		室		名		略	記	階		室		名		略	記
3	階	第	1	研	修	室	1	研	4 階	第	6	研	修	室	6	研
		第	2	研	修	室	2	研		第	7	研	修	室	7	研
		第	3	研	修	室	3	研		第	8	研	修	室	8	研
		第	4	研	修	室	4	研		第	9	研	修	室	9	研
		第	5	研	修	室	5	研		第	10	研	修	室	10	研
									5 階	管	理	事	務	室		

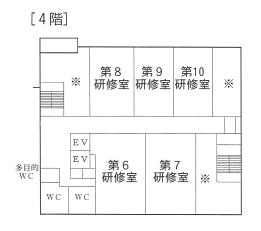












(注)※印は、教育センター及び教育委員会所管施設使用

#### 3 欠席届、受講延期届及び所員の派遣依頼の様式

様 式 (1)

第 号

令和 年 月 日

教育センター所長 様

名古屋市立

学校(園)長

名 前

欠 席 届

下記のように本校(園)職員が欠席しますのでお届けします。

記

- 1 研修会名(部会名)
- 2 欠席する日時
- 3 欠席者名
- 4 欠席理由
- 注① 研修会への参加者が不特定の場合は様式(1)の3の欠席者名は記入不要です。
- 注② 遅刻・早退の場合、欠席届の様式を参考に作成し、提出してください。
- 注③ 送付先…該当部長(研修部長、研究調査部長、教育相談部長)宛に送付してください。

#### 様 式 (2)

第 号

令和 年 月 日

教育センター所長 様

名古屋市立

学校(園)長

名 前

#### 受 講 延 期 届

下記のように本校(園)職員が受講を延期しますのでお届けします。

記

- 1 研修会名(部会名)
- 2 受講延期する年度
- 3 受講延期者名
- 4 受講延期理由
- 注① 年度初めに速やかに提出してください。
- 注② 受講を延期する期間が複数年度にまたがる場合は、必ず年度ごとに提出してください。
- 注③ 研修会名は、正式な名称で記入してください。
- 注④ 送付先…該当部長(研修部長、研究調査部長、教育相談部長)宛に送付してください。

第 号

令和 年 月 日

教育センター所長 様

名古屋市立 学校(園)長 名 前

### 所員の派遣について (依頼)

下記の会へ貴所指導主事 〇 〇 〇 の派遣について御配慮ください。

記

- 1 会 合 名
- 2 目 的
- 3 日 時
- 4 場 所
- 5 参 加 者
- 注① 送付先…研究調査部長宛に送付してください。学校コンサルテーションは、教育相談部長宛に送付してください。

#### <提出書類の送付について>

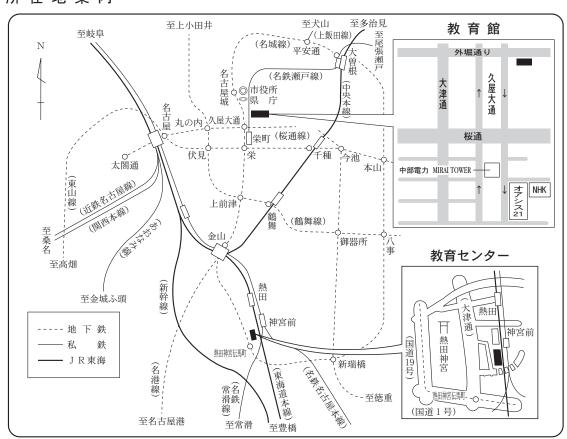
封筒を使用する場合は研修会名を朱書。 (個人情報に関わるもの以外は、でき) るだけ送付状を使用してください。) 等への参加 施設利用及び研究

#### 暴風、地震等不測の事態における研修等への参加について

研修等の有無については、以下の対応にしたがいます。

- (1) 暴風・大雨等への対応
  - ① 暴風(暴風雪)警報が発表及び避難指示 ※1 が発令されている場合(特別警報を含む)
    - ア 午前6時までに警報及び避難指示が解除されないときは、午前中の研修等を中止する。
    - イ 午前6時から午前11時までに警報及び避難指示が解除されたときは、午後の<u>研修等を行う。\*\*</u>2
    - ウ 午前11時を過ぎても警報及び避難指示が解除されないときは、当日の研修等を中止する。
  - ② 暴風(暴風雪)以外の警報及び注意報が発表されている場合 大雨、洪水、高潮、大雪警報及び注意報が発表されている場合は、研修等を行う。※2
  - ※1 ここでは、教育センター・教育館等、研修実施場所に避難指示が発令されている場合を指し、研修実施場所 に避難指示が発令されていない場合は研修を行う。
  - ※2 研修等を行う場合においても、地域の実情によっては、校(園)長の指示に従う。
- (2) 地震への対応
  - 市域で震度 5 強以上の地震が発生した場合 研修を中止する。

#### 所在地案内



#### ◇教育センター

[所在地]

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号 [交通機関]

- ・地下鉄「熱田神宮伝馬町」下車 2番出口 北東 ・地下鉄「熱田神宮伝馬町」下車 2番出口 北東 徒歩約5分
- ・市バス「神宮東門」下車 南東
- ・名鉄名古屋本線「神宮前」下車 南へ徒歩約5分
- ・JR東海道本線「熱田」下車 南へ徒歩10分

#### その他

(1) 施設利用に関わる出入口について

教育センターは、子ども教育相談ハートフレンドなごやを併設しています。研修等では中央出入口を利用し、ハー トフレンドなごやの出入口は利用しないでください。

(2) 研修等の参加について

研修等に参加できるのは、対象として明記されている方のみとなりますので御承知おきください。なお、一部の 研修については、事前に希望をすれば受講できるコマもあります。また、研修を受講する上で、配慮を必要とする 場合は、管理職より各研修担当に事前に相談してください。

◇教育館

[所在地]

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目1番4号

[交通機関] ·地下鉄「久屋大通」下車 1 A 出口 徒歩10分

# 教育センター・教育館電話番号等案内

# 教育センター

所	属	電 話・FAX	II 電 話			
所	長	683-6403	IP 644-150			
	総 務 課 長	683-6404	IP 644-141			
総務課		683-6401 681-7941(FAX)	IP 644-158			
	研修部長	683-6405	IP 644-142			
研修部	第1研究室	683-6406 681-7943(FAX)	IP 644-152			
	第 2 研 究 室	683-6407	IP 644-143 IP 644-153			
	研究調査部長	683-6417	IP 644-144			
	第3研究室	683-6408 683-6431 (FAX)	IP 644-154			
研究調査部	図書事務室	683-6420				
	教師力フォローアップ事務室	683-6428	IP 644-148			
	なごや教職インターンシップ事務局	683-6420				
	視聴覚ライブラリー	671 - 8522  671 - 852	T			
	教育相談部長	683-6421	IP 644-147			
	教育相談研究室	683-6414 683-8223 (FAX)	IP 644-146			
	生徒指導相談員室	683-6429	1			
教育相談部	特別支援教育研究室	683-6422	IP 644-156			
	子 ど も 教 育 相 談 ハートフレンドなごや	683-8222(総合相談ダイヤ 683-6415(来所相談予約専				
	教職員相談	683-6416(教職員相談専用	ダイヤル)			

# 教育館

管 理 事 務 室	9 6 1 - 2 5 4 1 9 5 3 - 0 3 4 1 (FAX)	IP 644-157
-----------	--	------------